

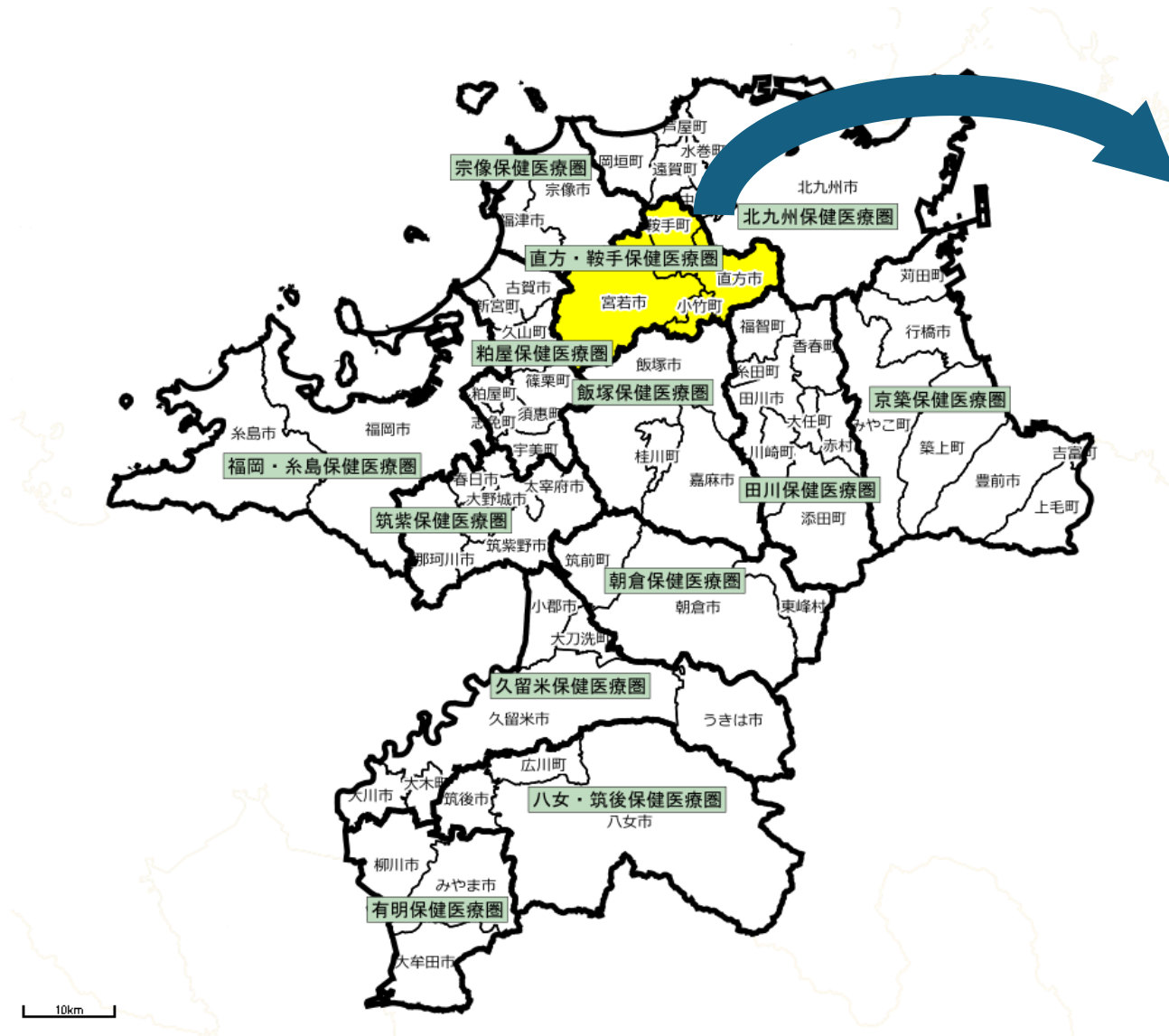
# 地区診断

—直方・鞍手区域—

# 目次

1	概要	3
2	人口の状況	4
3	出生率の状況	9
4	死亡率の状況	10
5	将来推計人口の推移	11
6	市町別将来推計人口の推移	15
7	SCRの状況	17
8	患者推計	22
9	医療従事者数〔医師〕	24
10	医療従事者数〔医師・診療科〕	26
11	医療従事者数〔常勤医師〕	27
12	医療介護資源の状況	29
13	医療介護資源の状況〔看護師数・介護職員数〕	31
14	在宅医療の状況	36
15	看護職員の状況	41
16	二次医療圏の人口及び流入流出患者割合・比較表	43
17	二次救急及び急患センターの位置（隣接区域含む）	44
18	人口メッシュ（500m）	45
19	救急搬送の状況	46
20	救急医療電話相談利用件数	51
21	MDC別割合	52

# 1. 概要



構成市町村:2市2町  
(直方市、宮若市、小竹町、鞍手町)

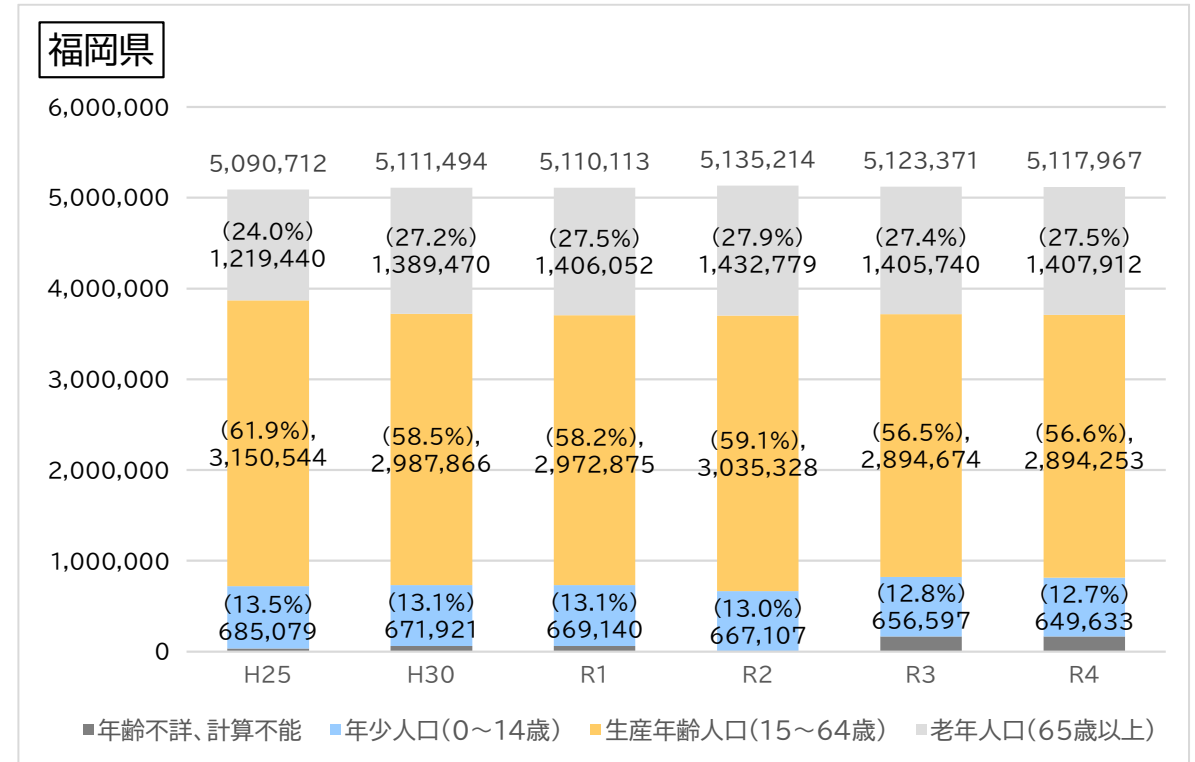
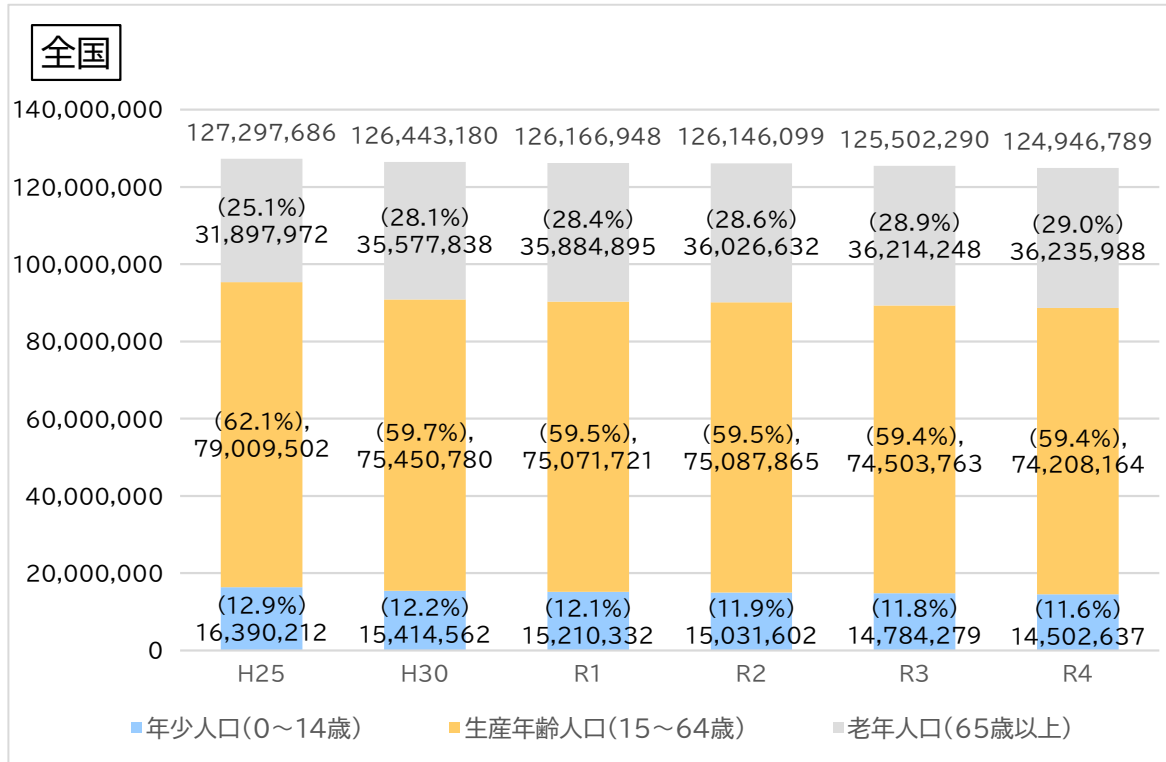
面積:251.63km<sup>2</sup>

人口:104,741人(令和2年国勢調査)  
〔うち年少人口(0~14):12,735人(12.2%)〕  
〔うち生産年齢人口(15~64):54,050人(51.6%)〕  
〔うち老年人口(65~):37,585人(35.9%)〕

出生数:624人(令和4年福岡県保健統計年報)  
(人口千対:6.2)※ 県平均7.1

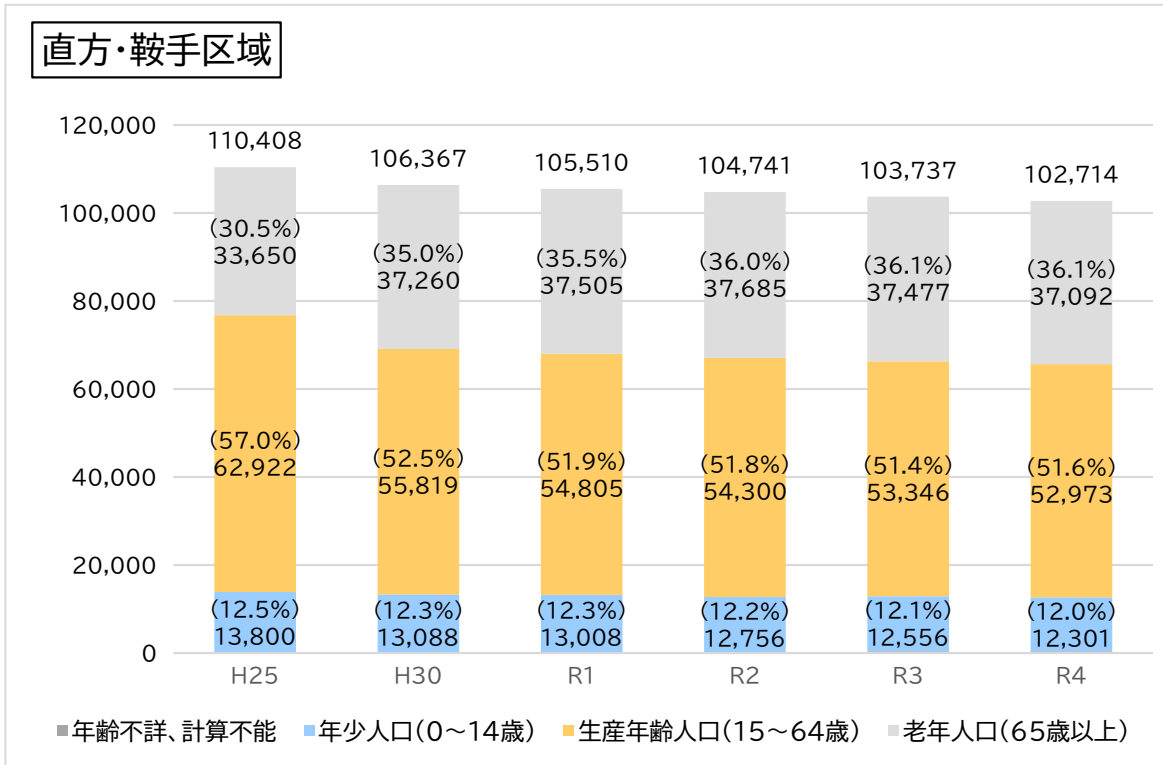
死亡数:1,748人(令和4年福岡県保健統計年報)  
(人口千対:17.3)※ 県平均12.2

## 2. 人口の状況 (「福岡県の人口・年齢3区分別(各年10月1日現在)」)



- ・総人口について、全国は減少傾向であり、福岡県は令和2年をピークに減少していく見込み
- ・年齢3区分別人口の推移を見ると、全国、福岡県ともに、老年人口の割合は増加傾向で、生産年齢人口、年少人口は、減少傾向となっている
- ・老年人口の割合は、H25年からR4年までで、全国で3.9ポイント増加し、福岡県では、3.5ポイント増加している

## 2. 人口の状況 (「福岡県の人口・年齢3区分別(各年10月1日現在)」)



- ・総人口については、減少傾向

- ・年齢3区分別人口の推移を見ると、老年人口の割合は増加傾向で、生産年齢人口、年少人口は、減少傾向となっている

- ・老年人口の割合は、30%を超えており、H25年度からR4年度までで、5.6ポイント増加している

- ・R4年度の各市町の状況を見ると(スライド6参照)、老年人口の割合が40%を超えている小竹町、30%台前半の直方市など、各市町で状況は様々となっている

## 2. 人口の状況 (「福岡県の人口・年齢3区分別(各年10月1日現在)」)

### ●直方・鞍手区域の各市町の状況

	H25				H30				R1				R2				R3				R4			
	年少人口	生産年齢人口	老年人口	総数	年少人口	生産年齢人口	老年人口	総数	年少人口	生産年齢人口	老年人口	総数	年少人口	生産年齢人口	老年人口	総数	年少人口	生産年齢人口	老年人口	総数	年少人口	生産年齢人口	老年人口	総数
直方市	7,453 (13.1%)	32,671 (57.4%)	16,770 (29.4%)	56,947	7,331 (13.1%)	29,937 (53.3%)	18,752 (33.4%)	56,174	7,365 (13.2%)	29,561 (52.8%)	18,858 (33.7%)	55,937	7,337 (13.1%)	29,797 (53.0%)	19,078 (33.9%)	56,212	7,238 (13.0%)	29,436 (52.7%)	18,976 (34.0%)	55,888	7,080 (12.8%)	29,393 (52.9%)	18,815 (33.9%)	55,524
宮若市	3,675 (12.7%)	16,288 (56.4%)	8,910 (30.9%)	28,872	3,374 (12.3%)	14,232 (52.0%)	9,711 (35.5%)	27,364	3,299 (12.1%)	14,083 (51.8%)	9,754 (35.9%)	27,182	3,161 (12.0%)	13,472 (51.2%)	9,665 (36.8%)	26,298	3,068 (11.8%)	13,164 (50.7%)	9,601 (37.0%)	25,947	3,022 (11.8%)	12,994 (50.7%)	9,480 (37.0%)	25,608
小竹町	832 (10.3%)	4,535 (55.9%)	2,759 (34.0%)	8,114	669 (9.0%)	3,736 (50.4%)	3,010 (40.6%)	7,418	645 (8.9%)	3,541 (49.0%)	3,046 (42.1%)	7,232	605 (8.5%)	3,524 (49.3%)	3,022 (42.3%)	7,151	606 (8.6%)	3,440 (48.8%)	3,003 (42.6%)	7,049	580 (8.4%)	3,364 (48.8%)	2,953 (42.8%)	6,895
鞍手町	1,840 (11.2%)	9,428 (57.2%)	5,211 (31.6%)	16,475	1,714 (11.1%)	7,914 (51.4%)	5,787 (37.6%)	15,411	1,699 (11.2%)	7,620 (50.3%)	5,847 (38.6%)	15,159	1,653 (11.0%)	7,507 (49.8%)	5,920 (39.3%)	15,080	1,644 (11.1%)	7,306 (49.2%)	5,897 (39.7%)	14,853	1,619 (11.0%)	7,222 (49.2%)	5,844 (39.8%)	14,687

※総数には年齢不詳、計算不能を含む

## 2. 人口の状況 (2020年(令和2年)「国勢調査」)

### ●昼夜間人口

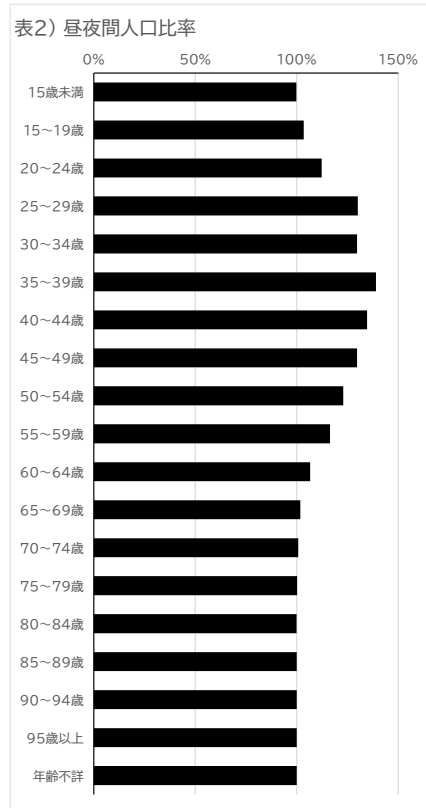
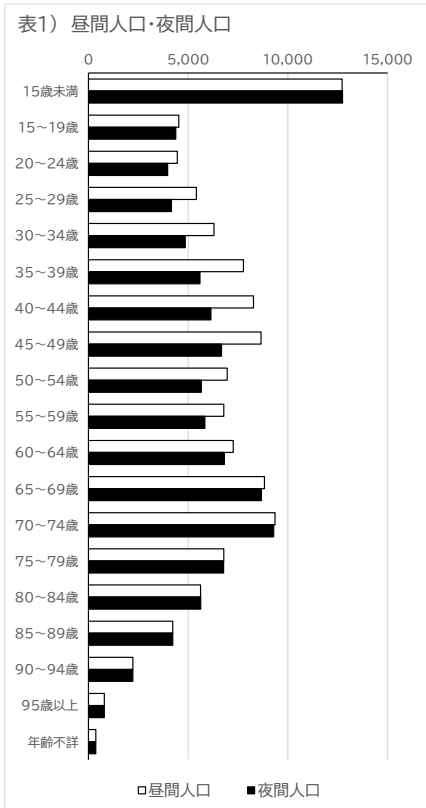


表3) 年齢別昼夜間人口

年齢	昼間人口		夜間人口		昼夜差		昼夜間人口比率					
	男	女	男	女	男	女	男	女				
総数	117,257	104,741	111.9%		59,501	57,756	49,262	55,479	10,239	2,277	120.8%	104.1%
15歳未満	12,712	12,735	99.8%		6,583	6,129	6,593	6,142	-10	-13	99.8%	99.8%
15～19歳	4,528	4,377	103.4%		2,359	2,169	2,305	2,072	54	97	102.3%	104.7%
20～24歳	4,454	3,966	112.3%		2,608	1,846	2,071	1,895	537	-49	125.9%	97.4%
25～29歳	5,407	4,156	130.1%		3,257	2,150	2,211	1,945	1,046	205	147.3%	110.5%
30～34歳	6,292	4,852	129.7%		3,740	2,552	2,470	2,382	1,270	170	151.4%	107.1%
35～39歳	7,767	5,588	139.0%		4,653	3,114	2,784	2,804	1,869	310	167.1%	111.1%
40～44歳	8,268	6,142	134.6%		4,915	3,353	3,118	3,024	1,797	329	157.6%	110.9%
45～49歳	8,646	6,666	129.7%		4,956	3,690	3,398	3,268	1,558	422	145.9%	112.9%
50～54歳	6,952	5,658	122.9%		3,710	3,242	2,765	2,893	945	349	134.2%	112.1%
55～59歳	6,788	5,831	116.4%		3,493	3,295	2,762	3,069	731	226	126.5%	107.4%
60～64歳	7,262	6,814	106.6%		3,570	3,692	3,232	3,582	338	110	110.5%	103.1%
65～69歳	8,819	8,666	101.8%		4,139	4,680	4,053	4,613	86	67	102.1%	101.5%
70～74歳	9,355	9,285	100.8%		4,397	4,958	4,378	4,907	19	51	100.4%	101.0%
75～79歳	6,782	6,773	100.1%		2,885	3,897	2,884	3,889	1	8	100.0%	100.2%
80～84歳	5,615	5,623	99.9%		2,098	3,517	2,101	3,522	-3	-5	99.9%	99.9%
85～89歳	4,227	4,226	100.0%		1,302	2,925	1,302	2,924	0	1	100.0%	100.0%
90～94歳	2,220	2,220	100.0%		527	1,693	526	1,694	1	-1	100.2%	99.9%
95歳以上	792	792	100.0%		120	672	120	672	0	0	100.0%	100.0%
年齢不詳	371	371	100.0%		189	182	189	182	0	0	100.0%	100.0%

- ・昼夜間人口の差が大きい年代は「35-39歳」、「40-44歳」であり、通勤で域外から流入しているものと思料
- ・それ以外の年代についても、昼夜間人口比率が概ね100%を超えている
- ・就業の年代(25-64)で見ると、男女とも昼間人口が多く、域外から流入しているものと思料

## 2. 人口の状況 (2020年(令和2年)「国勢調査」)

表4) 昼夜間人口比率

		計		就業者		通学者		その他	
		男	女	男	女	男	女	男	女
自地域内で 従業・通学 等	自地域内で、従業・通学	18,105	17,285	14,107	13,602	3,998	3,683	0	0
	従業も通学もしていない	15,141	25,414					15,141	25,414
	不詳	6,754	6,474	644	455	888	810	5,222	5,209
	計	40,000	49,173	14,751	14,057	4,886	4,493	20,363	30,623
流出	他地域に従業・通学	9,262	6,306	8,450	5,496	812	810	0	0
流入	他地域から従業・通学	19,501	8,583	19,019	7,953	482	630	0	0

### 主な流出先

#### 【就業】

市区町村名	流出(人)	構成比	市区町村名	流出(人)	構成比
1 福岡県 北九州市八幡西区	2,852	20.45%	1 福岡県 北九州市八幡西区	308	18.99%
2 福岡県 飯塚市	2,715	19.47%	2 福岡県 飯塚市	255	15.72%
3 福岡県 北九州市小倉北区	743	5.33%	3 福岡県 福岡市博多区	175	10.79%
4 福岡県 中間市	687	4.93%	4 福岡県 福岡市東区	130	8.01%
5 福岡県 福岡市博多区	650	4.66%	5 福岡県 北九州市小倉北区	108	6.66%

#### 【通学】

### 主な流入元

#### 【就業】

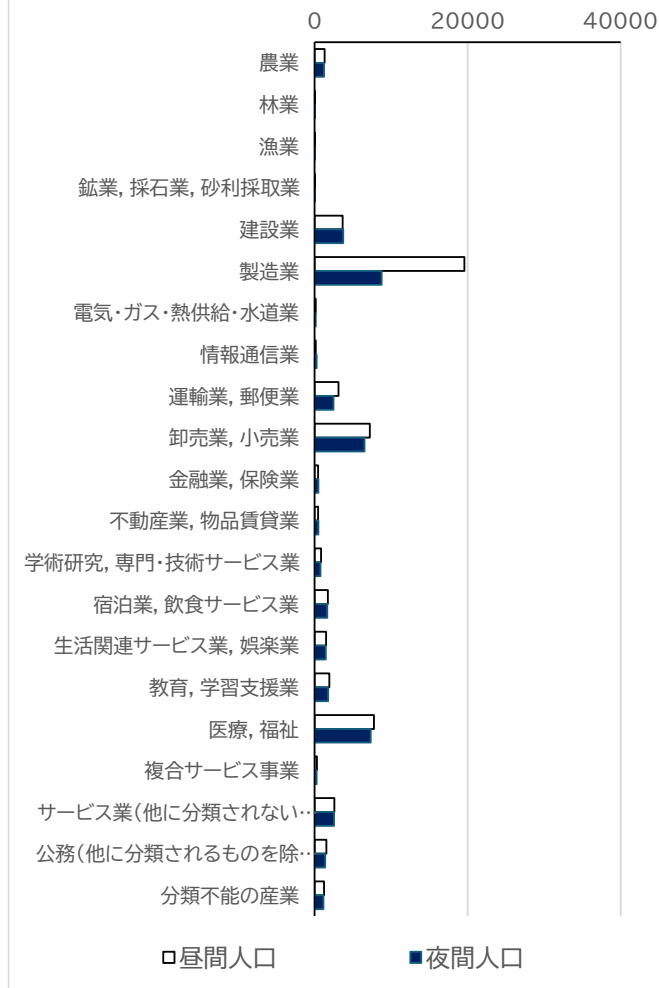
市区町村名	流入(人)	構成比	市区町村名	流入(人)	構成比
1 福岡県 北九州市八幡西区	5,714	21.18%	1 福岡県 北九州市八幡西区	327	29.41%
2 福岡県 宗像市	3,819	14.16%	2 福岡県 福智町	144	12.95%
3 福岡県 飯塚市	3,791	14.06%	3 福岡県 飯塚市	140	12.59%
4 福岡県 中間市	1,612	5.98%	4 福岡県 中間市	122	10.97%
5 福岡県 福智町	1,166	4.32%	5 福岡県 田川市	98	8.81%

#### 【通学】

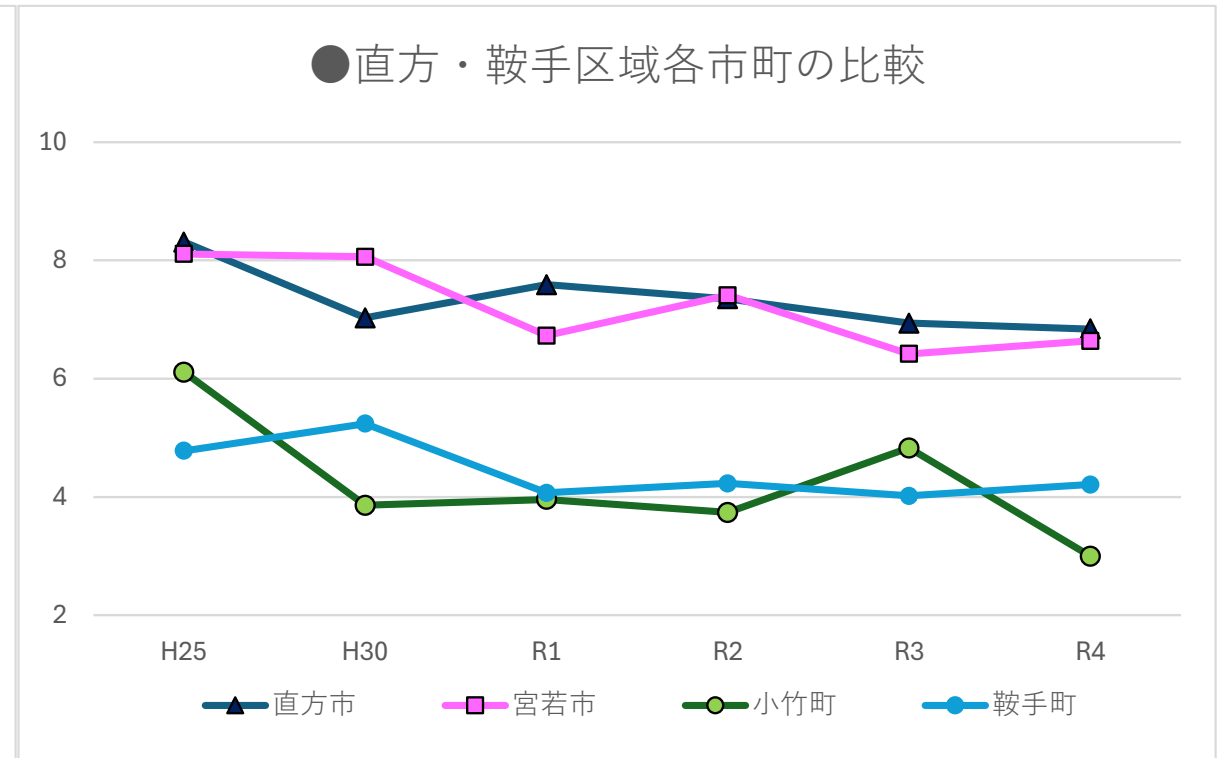
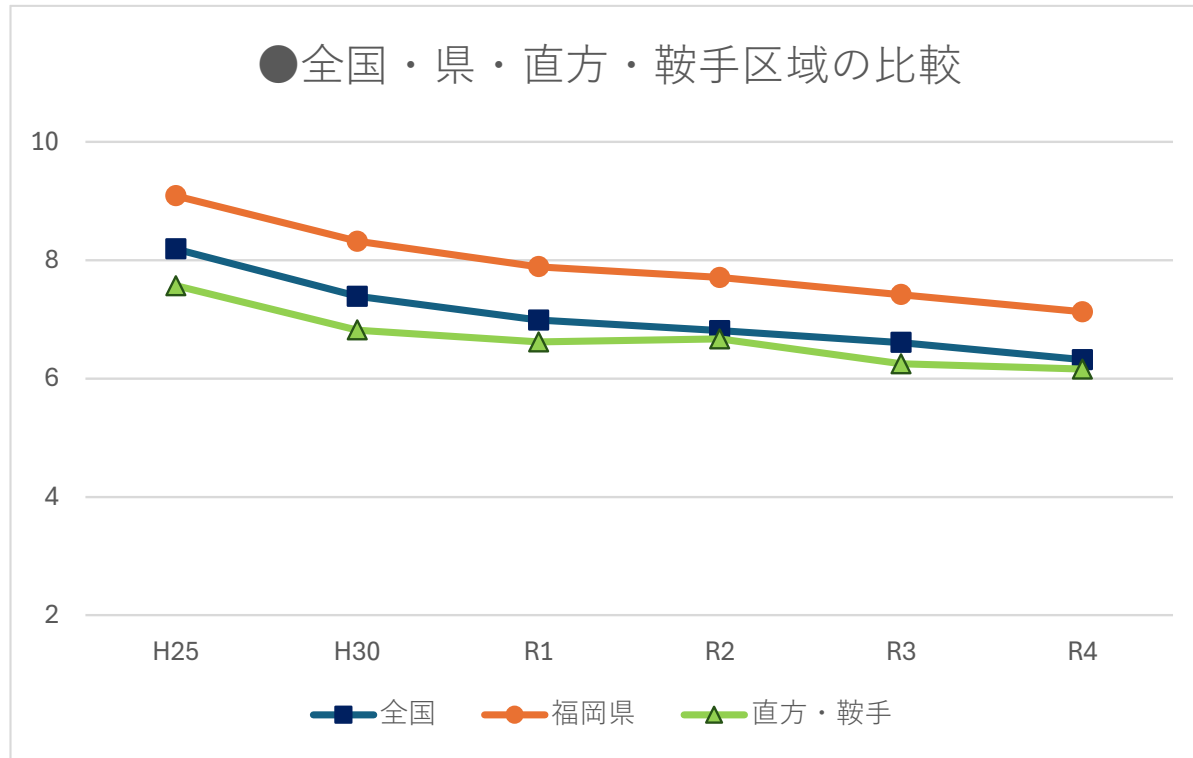
- ・ 就業者は、男女とも流入が多い
- ・ 通学者は、男女ともに流出が多い

産業別に昼間人口を見ると、製造業が最も多く、次いで医療・福祉、卸売業、小売業、となっている  
製造業は、夜間人口よりも昼間人口が圧倒的に多いなど、区内の製造業に他地区から流入している状況がみられる

表5) 昼間人口・夜間人口

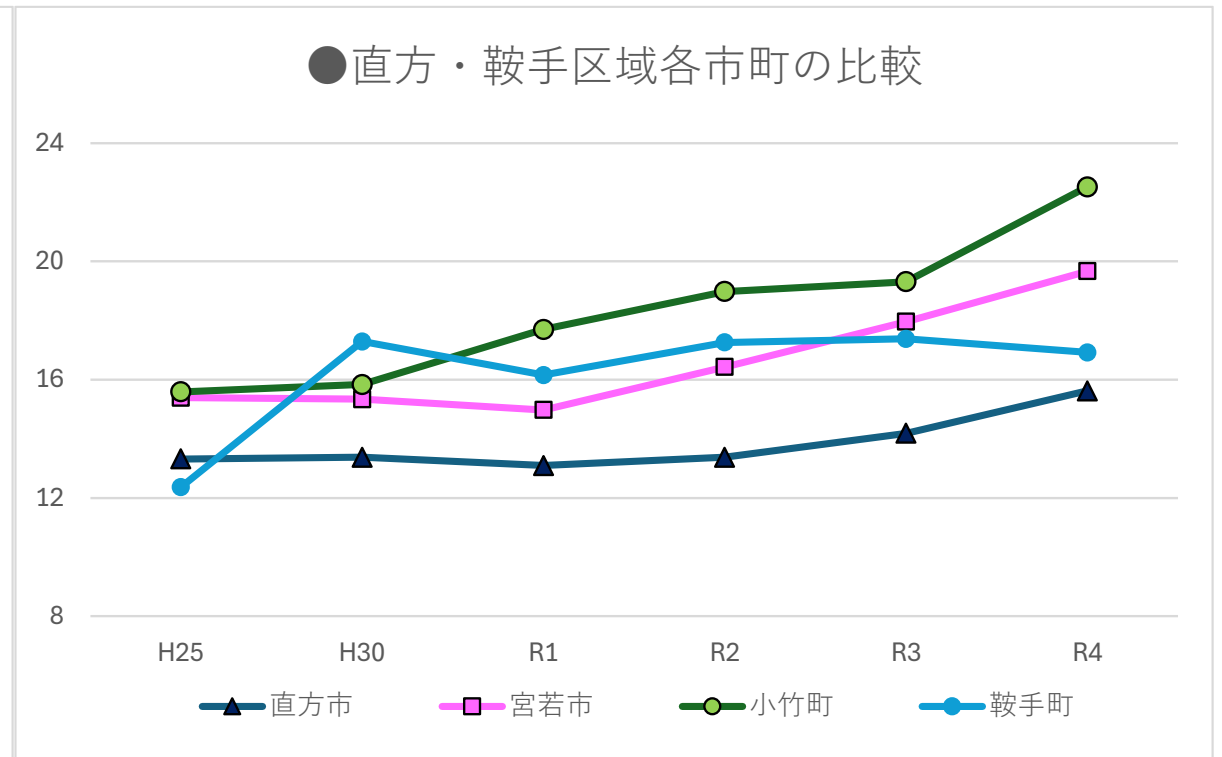
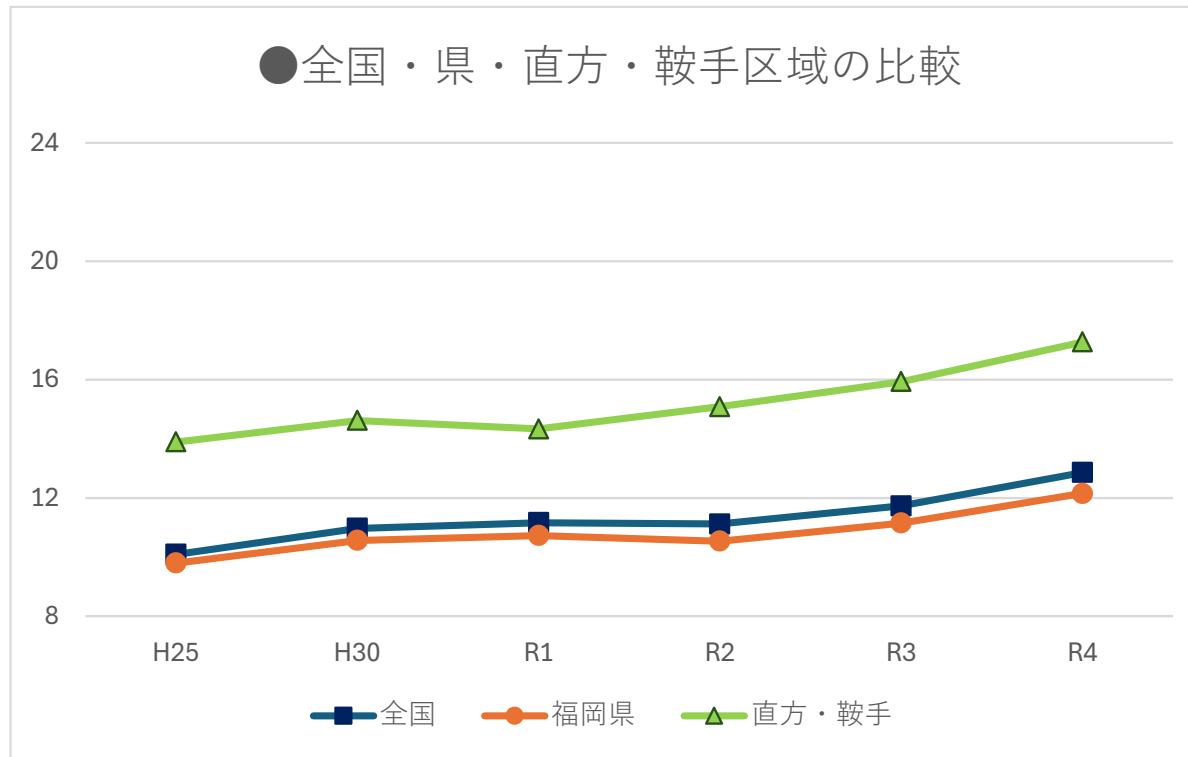


### 3. 出生率の状況 (「福岡県保健統計年報」)



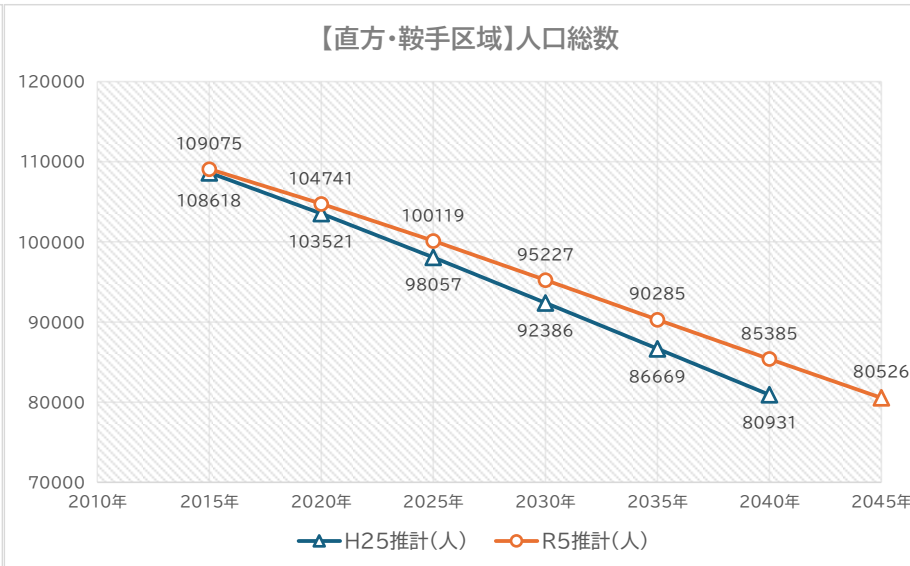
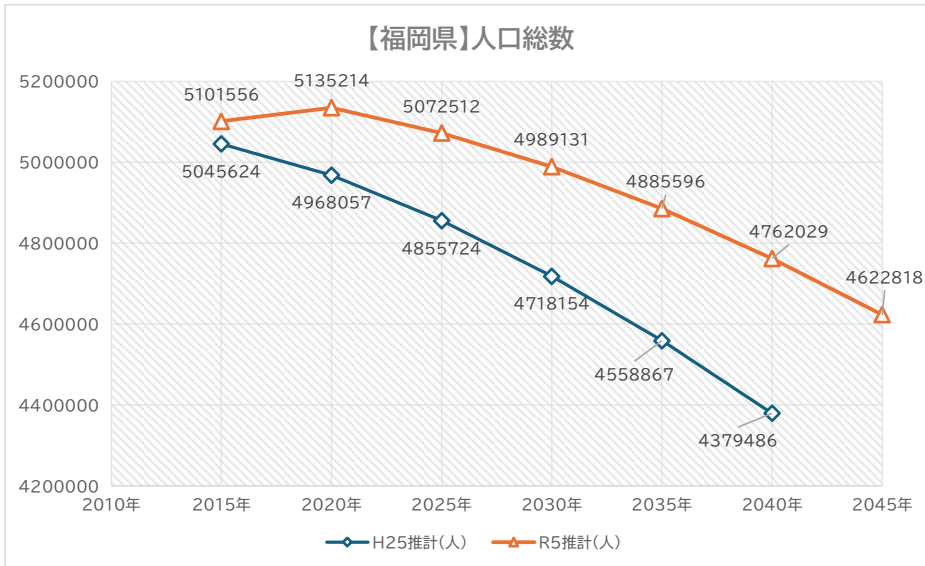
- ・出生率(人口千対)は、総人口、生産年齢人口の減少もあり、全国、福岡県、直方・鞍手区域ともに低下傾向となっている
- ・市町別で見ると、年度ごとに増減はあるものの、概ね低下傾向となっている
- ・R4年ではいずれの市町も県平均(7.1%)よりも出生率が低く、最も低いのは小竹町の3.0%である

## 4. 死亡率の状況 (「福岡県保健統計年報」)



- ・死亡率(人口千対)は、老年人口の増加もあり、全国、福岡県、直方・鞍手区域ともに上昇傾向となっている
- ・直方・鞍手区域は、老年人口の割合が全国、福岡県と比較して高いため、死亡率も高くなっているものと思料
- ・市町別を見ると、各市町で異なった動きをしているが、概ね、上昇傾向にあるものと思料
- ・R4年の県平均(12.2%)よりも死亡率が低い市町はなく、小竹町、宮若市は県平均よりもかなり高い

## 5. 将来推計人口の推移 (国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(H25推計、R5推計)年報」)



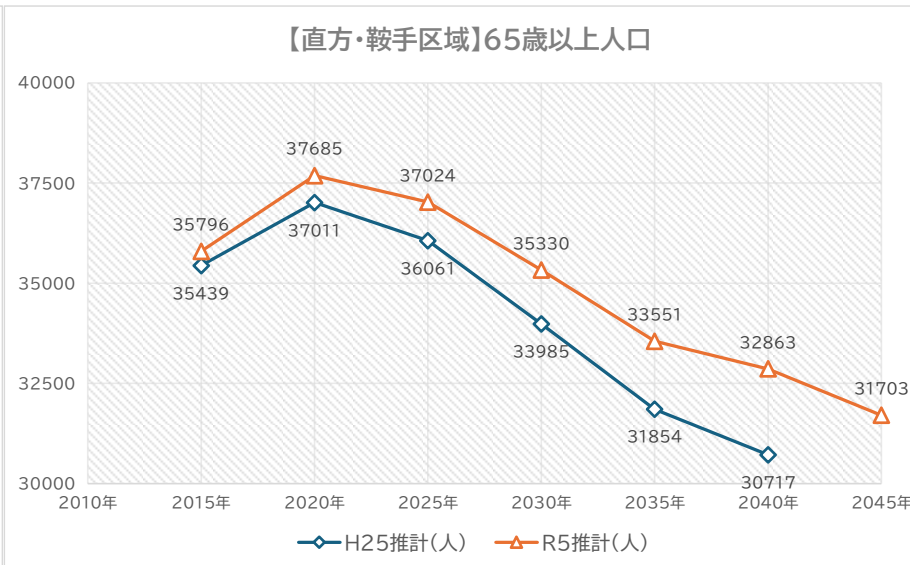
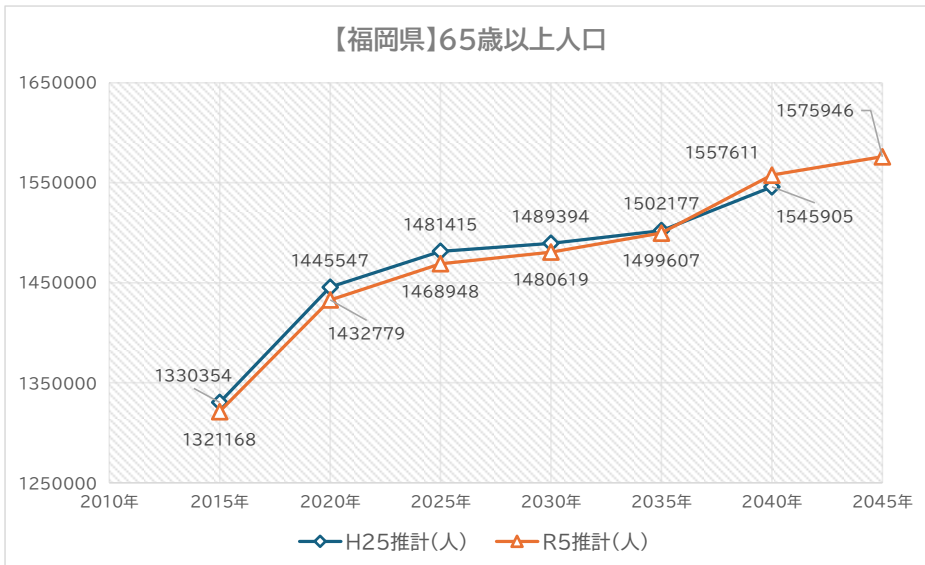
人口総数については、地域医療構想策定当時の推計(H25)と最新の推計(R5)を比べると、以下の状況が読み取れる

### 【福岡県全体】

当初の推計では、2015年以降減少する見込みであったが、R5推計では、2020年をピークに緩やかに減少する見込み

### 【直方・鞍手区域】

当初推計と同様の傾向であるが、当初推計よりも若干緩やかに推移する見込み



65歳以上人口については、以下の状況が読み取れる

### 【福岡県全体】

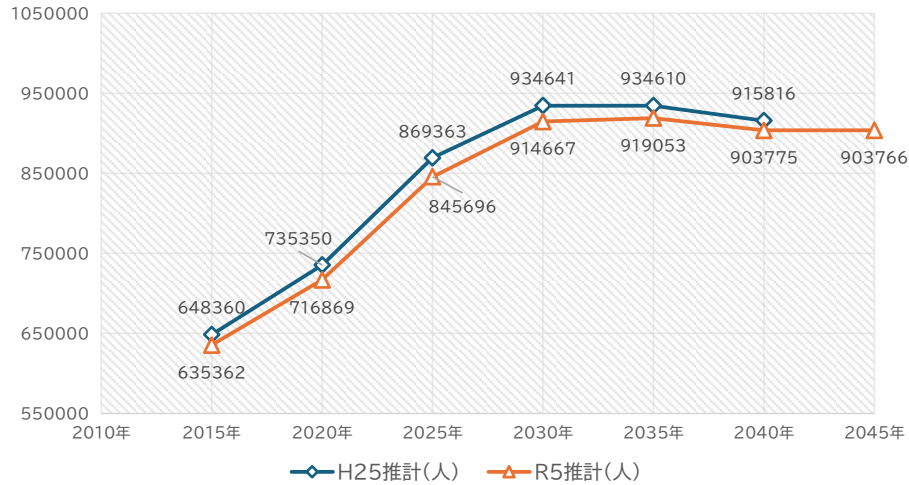
当初の推計と概ね同様の傾向で推移する

### 【直方・鞍手区域】

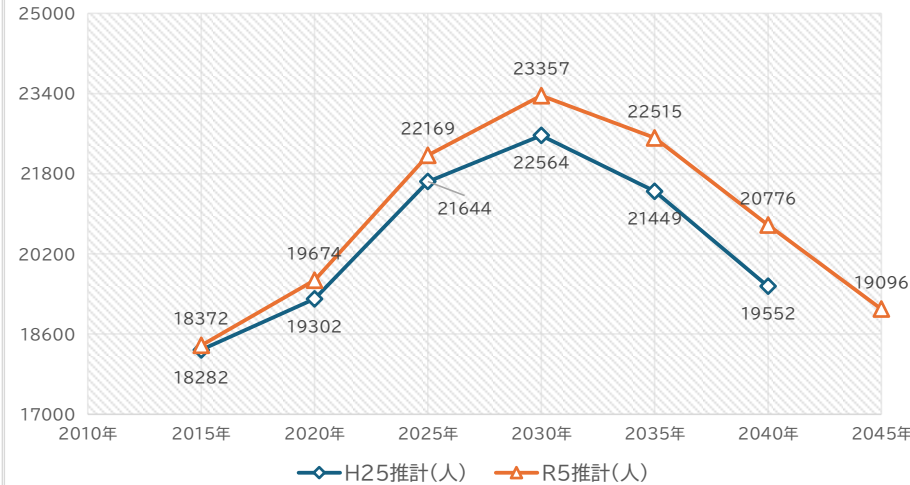
当初推計と同様の傾向で推移するが、人数そのものは増加する見込み

# 5. 将来推計人口の推移 (国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(H25推計、R5推計)年報」)

【福岡県】75歳以上人口



【直方・鞍手区域】75歳以上人口



75歳以上人口については、以下の状況が読み取れる

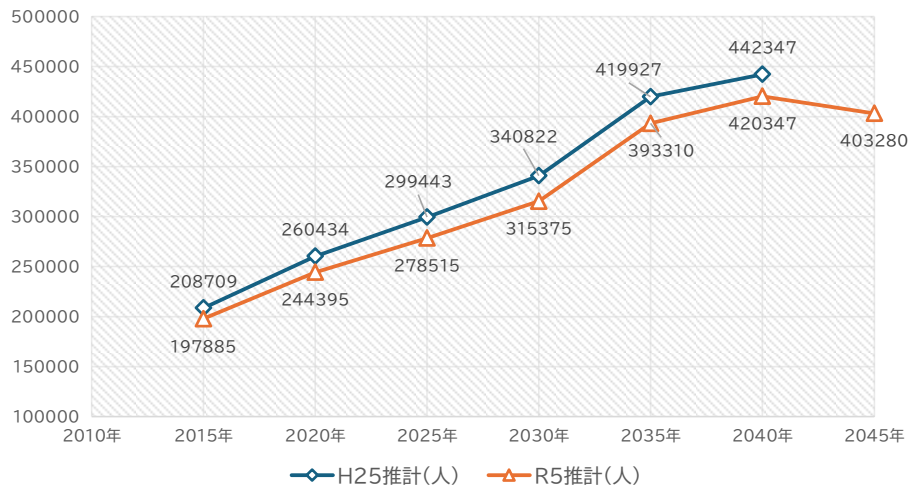
**【福岡県全体】**

当初の推計と概ね同様の傾向で推移するが、人数そのものは減少する見込み

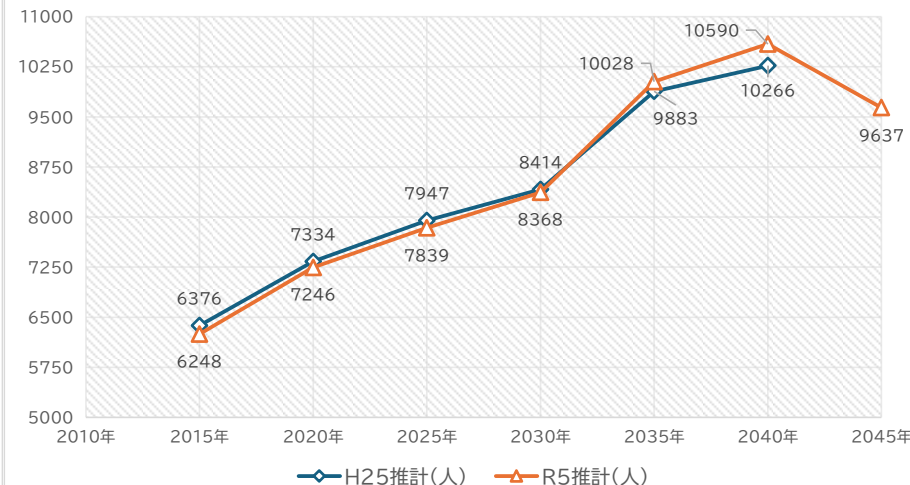
**【直方・鞍手区域】**

当初推計と同様の傾向で推移するが、人数そのものは増加する見込み

【福岡県】85歳以上人口



【直方・鞍手区域】85歳以上人口



85歳以上人口については、以下の状況が読み取れる

**【福岡県全体】**

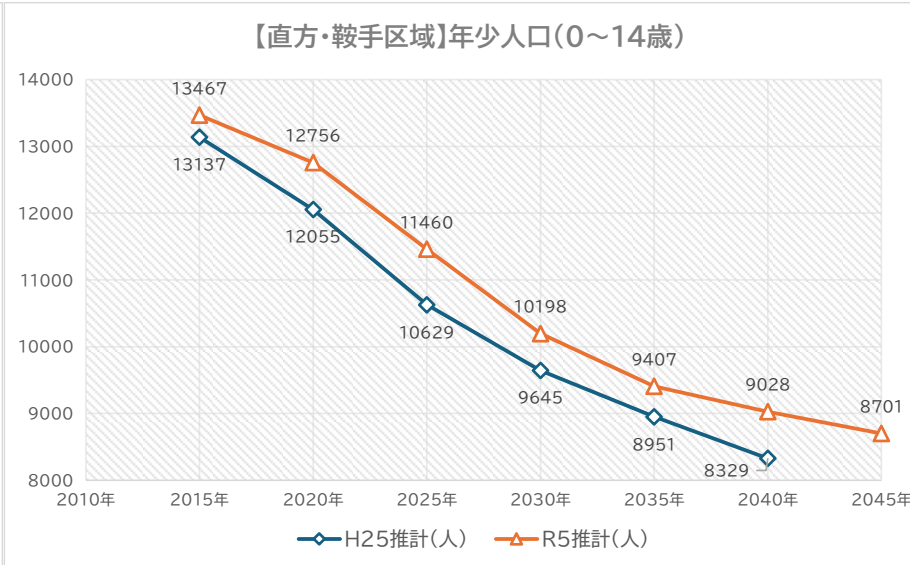
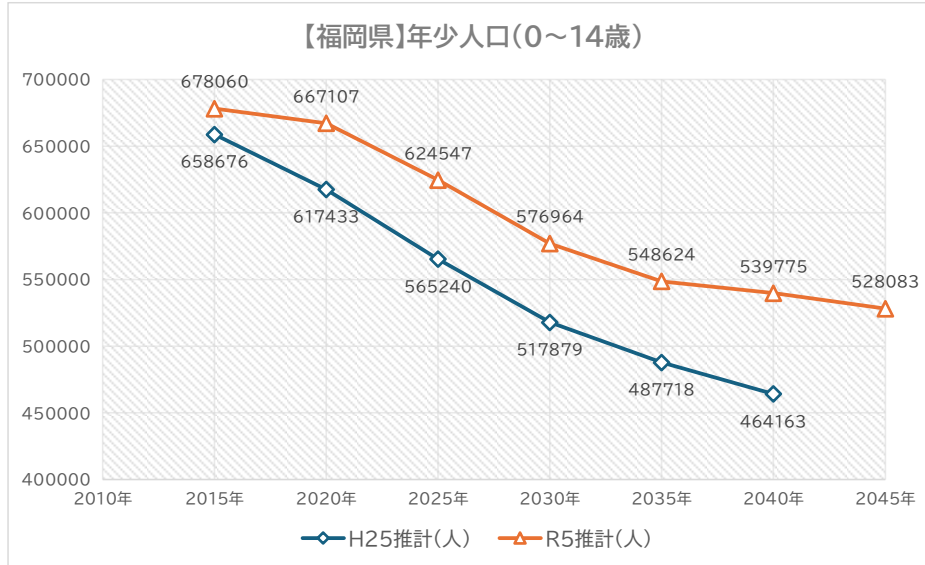
当初の推計と概ね同様の傾向で推移するが、人数そのものは減少する見込み

**【直方・鞍手区域】**

当初推計とほぼ同様の傾向で推移する見込み

# 5. 将来推計人口の推移 (国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(H25推計、R5推計)年報」)

## ●昼夜間人口



年少人口については、以下の状況が読み取れる

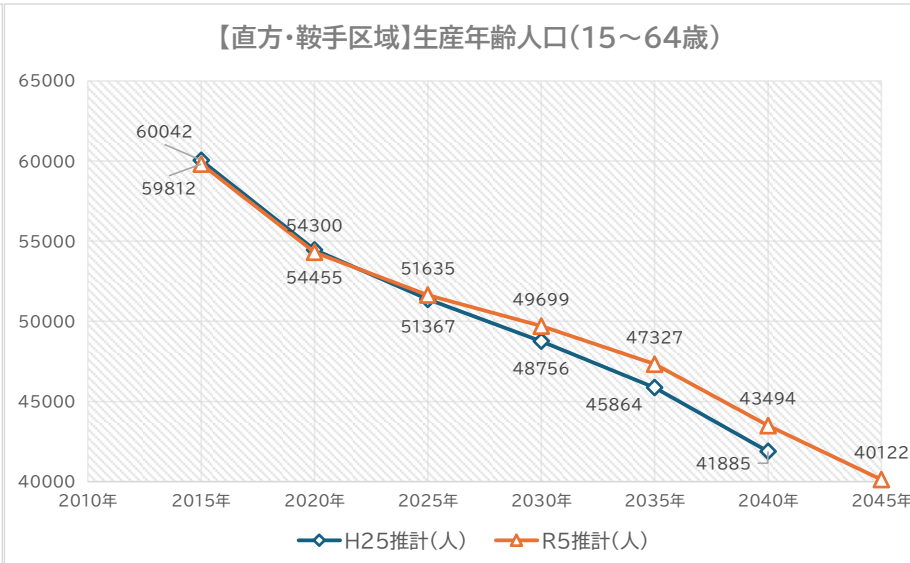
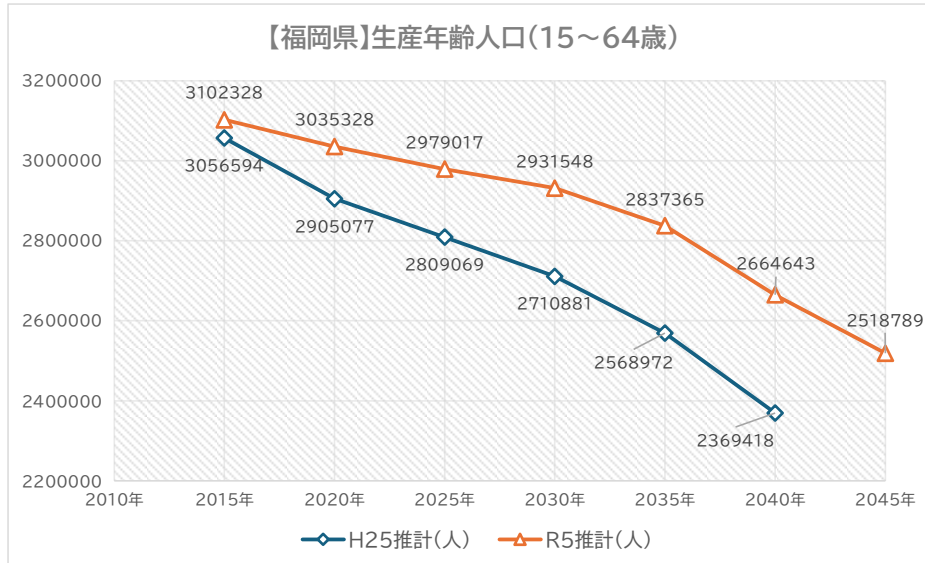
### 【福岡県全体】

当初の推計と概ね同様の傾向で推移するが、人数そのものは増加する見込み

またR5推計では、2040年にかけて減少のカーブが緩やかになる見込み

### 【直方・鞍手区域】

当初の推計と概ね同様の傾向で推移するが、人数そのものは増加する見込み



生産年齢人口については、以下の状況が読み取れる

### 【福岡県全体】

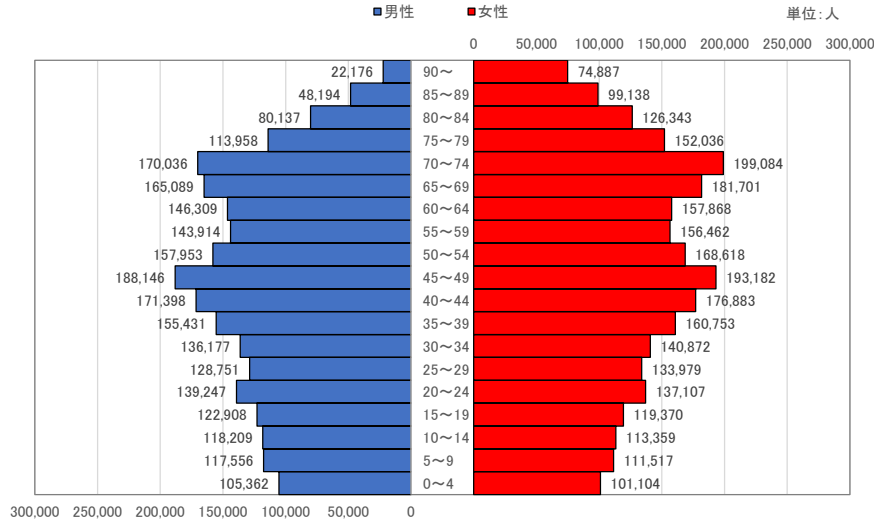
当初の推計と概ね同様の傾向で推移するが、人数そのものは増加する見込み

### 【直方・鞍手区域】

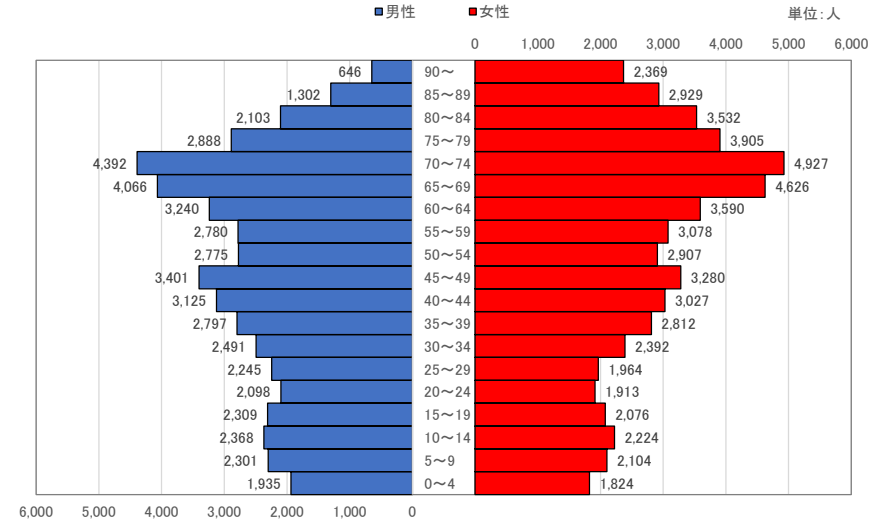
当初の推計と概ね同様の傾向で推移する見込み

# 5. 将来推計人口の推移 (国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(H25推計、R5推計)年報」)

【人口ピラミッドグラフ(福岡県)2020年】



【人口ピラミッドグラフ(直方・鞍手)2020年】

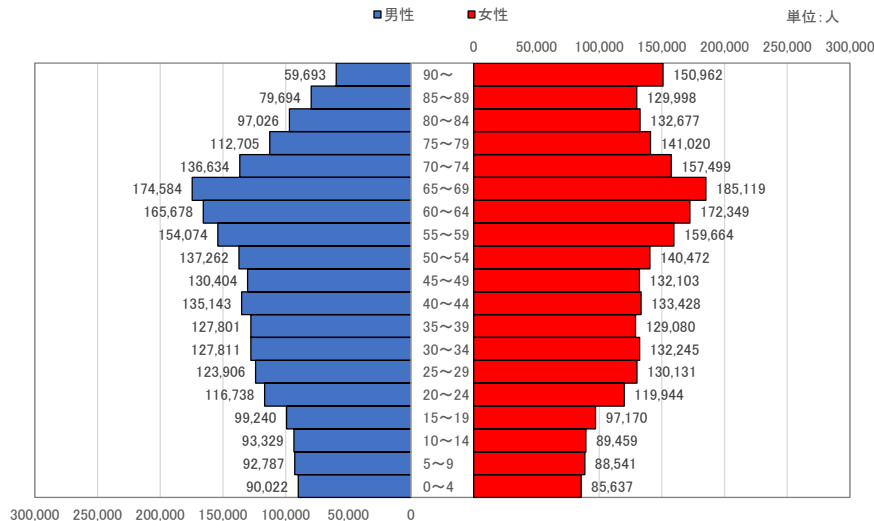


2020(令和2)年の人口ピラミッドからは、以下の状況が読み取れる

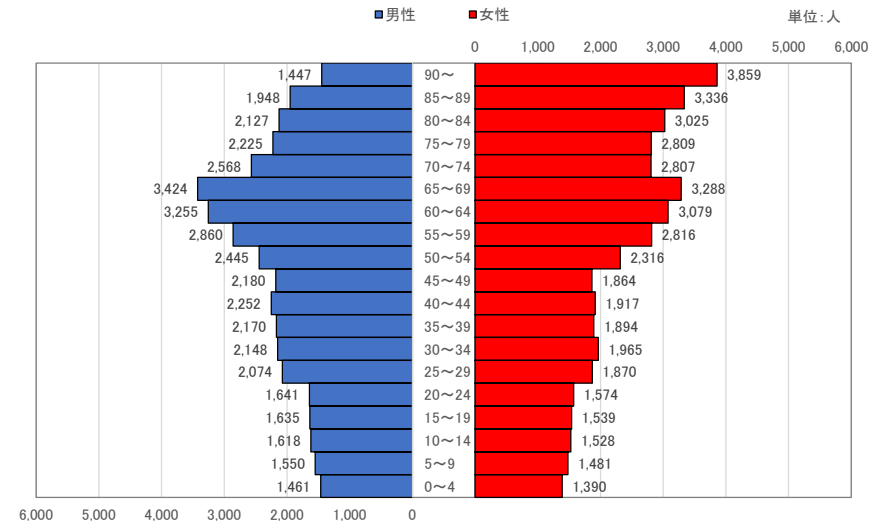
**【福岡県全体】**  
第1次ベビーブーム期にあたる71~74歳、第二次ベビーブーム期にあたる45~49歳で2つの人口の山があり、年齢が下がるにつれて人口が少なくなるつぼ型となっている

**【直方・鞍手区域】**  
福岡県全体と比較して、60代後半、70代前半の人口ボリュームが大きく、一定の規模を維持している

【人口ピラミッドグラフ(福岡県)2040年】



【人口ピラミッドグラフ(直方・鞍手)2040年】



2040(令和22年)の人口ピラミッドからは、以下の状況が読み取れる

**【福岡県全体】**  
ベビーブーム世代は90歳以上、65~69歳となり、この年代の人口ボリュームを一定程度維持しつつ推移するが、少子化が進むことによって、2020年に比べて年少人口が大きく減少し、より底が狭まったつぼ型となっている

**【直方・鞍手区域】**  
65歳以上の老年人口が一定の規模を維持しつつ推移しているため、2020年時点に比べて少子高齢化がさらに進み、より底が狭まったつぼ型となっている。男性は全年代での人口減少が顕著で、つぼ型というよりも縦に細長い形状となっている

## 6. 市町別将来推計人口の推移 (国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(H25推計、R5推計)年報」)

将来の男女5歳階級別推計人口(2020年は国勢調査による実績値)

総数	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	減少率 (20→50)
直方市	56,212	54,692	52,830	50,913	49,018	47,097	45,263	19.5%
宮若市	26,298	24,838	23,465	22,129	20,802	19,480	18,246	30.6%
小竹町	7,151	6,538	5,960	5,388	4,819	4,252	3,742	47.7%
鞍手町	15,080	14,051	12,972	11,855	10,746	9,697	8,719	42.2%
直方・鞍手計	104,741	100,119	95,227	90,285	85,385	80,526	75,970	27.5%

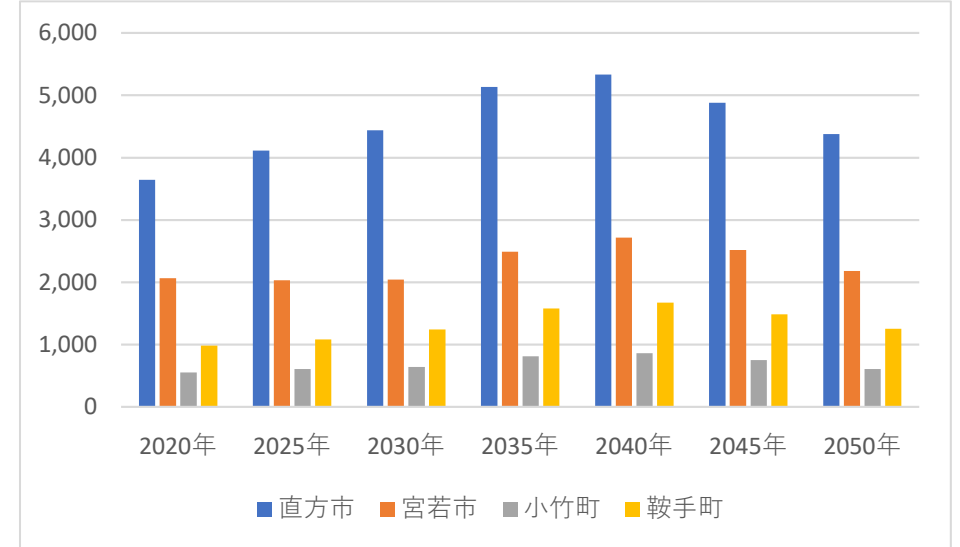
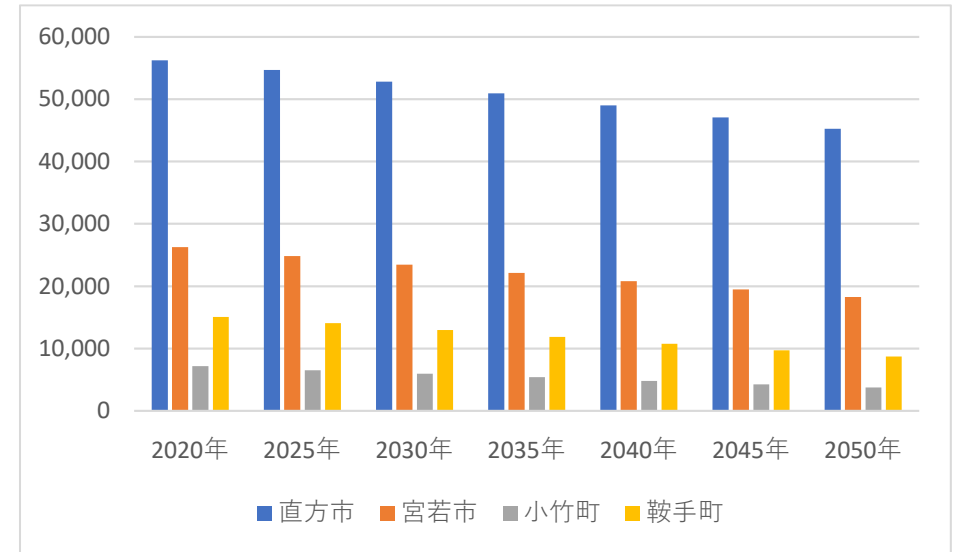
・いずれの市町も2050年に向けて減少傾向であり、2020年から2050年の減少率は、圏域全体の人口総数で27.5%

・減少率を市町別で見ると、直方市が19.5%で最も低く、小竹町は47.7%で最も高い

85歳以上	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	増加率 (20→40)
直方市	3,643	4,113	4,440	5,136	5,332	4,883	4,376	46.4%
宮若市	2,065	2,035	2,044	2,493	2,717	2,519	2,181	31.6%
小竹町	555	608	640	816	865	751	610	55.9%
鞍手町	983	1,083	1,244	1,583	1,676	1,484	1,254	70.5%
直方・鞍手計	7,246	7,839	8,368	10,028	10,590	9,637	8,421	46.1%

・いずれの市町も2040年にピークを迎え、その後減少していく

・増加率(2020→2040)を市町別で見ると、鞍手町で直方・鞍手区域全体の増加率(46.1%)を大きく上回り、70.5%となっている。次に増加率が高いのは小竹町の55.9%である



## 6. 市町別将来推計人口の推移 (国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(H25推計、R5推計)年報」)

生産年齢人口 (15～64歳)	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	減少率 (20→50)
直方市	29,797	29,161	28,680	27,737	26,002	24,451	23,150	22.3%
宮若市	13,472	12,514	11,855	11,291	10,374	9,543	8,856	34.3%
小竹町	3,524	3,156	2,868	2,554	2,158	1,831	1,543	56.2%
鞍手町	7,507	6,804	6,296	5,745	4,960	4,297	3,754	50.0%
直方・鞍手計	54,300	51,635	49,699	47,327	43,494	40,122	37,303	31.3%

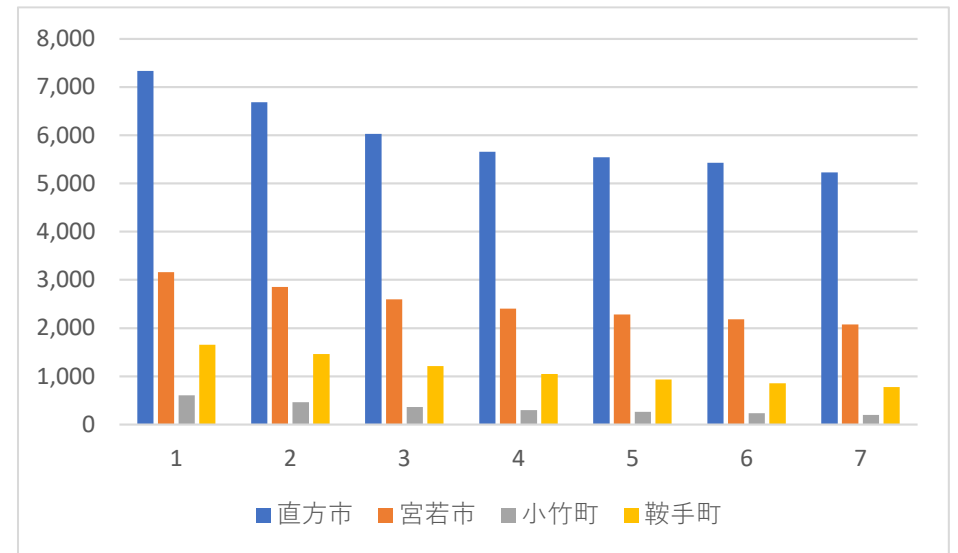
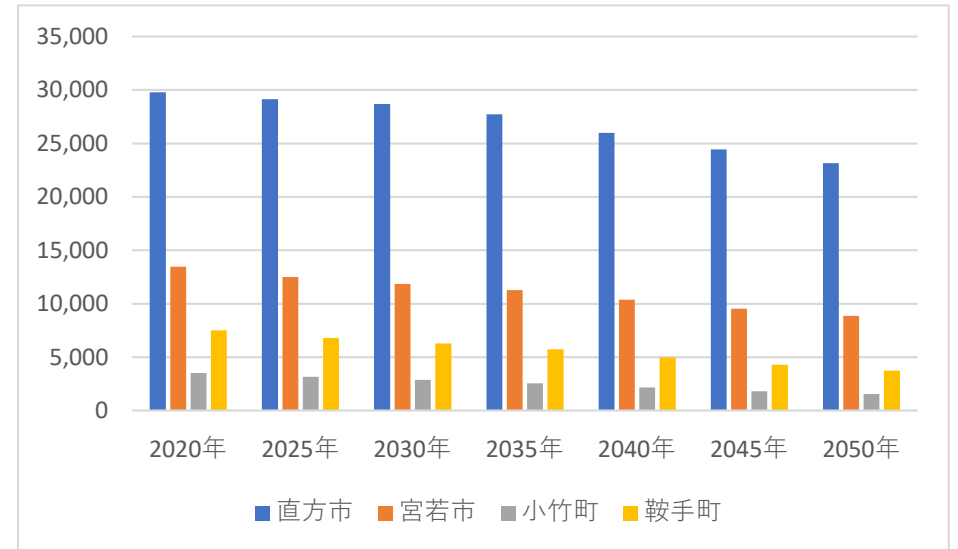
・いずれの市町も2050年に向けて減少傾向であり、2020年から2050年の減少率は、人口総数より大きい割合となっている

・減少率を市町別で見ると、小竹町、鞍手町が50%を超えており、直方市は20%台である

年少人口 (15歳未満)	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	減少率 (20→50)
直方市	7,337	6,682	6,030	5,655	5,545	5,432	5,228	28.7%
宮若市	3,161	2,854	2,595	2,404	2,285	2,181	2,075	34.4%
小竹町	605	463	361	298	261	233	200	66.9%
鞍手町	1,653	1,461	1,212	1,050	937	855	774	53.2%
直方・鞍手計	12,756	11,460	10,198	9,407	9,028	8,701	8,277	35.1%

・いずれの市町も2050年に向けて減少傾向であり、2020年から2050年の減少率は、人口総数より大きい割合となっている

・減少率を市町別で見ると、小竹町、鞍手町が50%を超えており、直方市は20%台である



## 7. SCRの状況 (SCRが100以上の項目の割合)

Standardized Claim-data Ratio: レセプト上に現れる各診療行為の算定回数を、都道府県の年齢構成の違いを調整し、出現比として指数化したもの  
 全国平均と同じ診療回数が行われた場合には指数が100となる

(県全体)	入院	外来	入院+外来	(直方・鞍手地域)	入院	外来	入院+外来
A 基本診療科	86.8%	50.0%	60.0%	A 基本診療科	36.1%	0.0%	20.0%
B 医学管理等	76.9%	46.2%	63.6%	B 医学管理等	0.0%	0.0%	0.0%
C 在宅医療	54.5%	45.5%	40.6%	C 在宅医療	11.8%	8.1%	3.6%
D 検査	65.7%	32.8%	46.0%	D 検査	11.8%	14.7%	11.9%
E 画像	100.0%	60.0%	70.0%	E 画像	0.0%	25.0%	0.0%
F 投薬	100.0%	25.0%	33.3%	F 投薬	50.0%	0.0%	0.0%
G 注射	62.5%	50.0%	76.9%	G 注射	12.5%	33.3%	25.0%
H リハビリテーション	75.0%	62.5%	75.0%	H リハビリテーション	16.7%	0.0%	0.0%
I 精神	66.7%	71.4%	50.0%	I 精神	33.3%	25.0%	33.3%
J 処置	66.3%	46.7%	67.1%	J 処置	21.7%	21.7%	11.5%
K 手術	76.1%	45.2%	73.6%	K 手術	23.5%	26.8%	16.1%
L 麻酔	60.0%	42.9%	58.3%	L 麻酔	0.0%	0.0%	0.0%
M 放射線治療	100.0%	40.0%	100.0%	M 放射線治療	-	-	-
N 病理診断	100.0%	42.9%	85.7%	N 病理診断	16.7%	20.0%	16.7%

・SCRが100以上の項目数は、以下のとおり(A~Nの全数)

[県全体]入院:545(73.3%)、外来:232(43.5%)、入院+外来:255(60.7%)

[直方・鞍手]入院:82(19.4%)、外来:65(17.8%)、入院+外来42(11.8%)

・A~Nの分野ごとに見ると、直方・鞍手区域では「投薬」の割合が高い

## 7. SCRの状況 (SCRが90未満の項目の割合)

Standardized Claim-data Ratio: レセプト上に現れる各診療行為の算定回数を、都道府県の年齢構成の違いを調整し、出現比として指数化したもの

全国平均と同じ診療回数が行われた場合には指数が100となる

(県全体)	入院	外来	入院+外来	(直方・鞍手地域)	入院	外来	入院+外来
A 基本診療科	10.3%	33.3%	20.0%	A 基本診療科	55.6%	33.3%	40.0%
B 医学管理等	23.1%	46.2%	27.3%	B 医学管理等	91.7%	81.8%	81.8%
C 在宅医療	36.4%	36.4%	37.5%	C 在宅医療	82.4%	81.1%	96.4%
D 検査	24.1%	47.0%	38.1%	D 検査	83.9%	79.8%	82.6%
E 画像	0.0%	20.0%	20.0%	E 画像	100.0%	62.5%	80.0%
F 投薬	0.0%	75.0%	33.3%	F 投薬	50.0%	25.0%	33.3%
G 注射	31.3%	31.3%	15.4%	G 注射	87.5%	58.3%	66.7%
H リハビリテーション	25.0%	25.0%	25.0%	H リハビリテーション	83.3%	100.0%	100.0%
I 精神	33.3%	21.4%	37.5%	I 精神	66.7%	62.5%	50.0%
J 処置	25.0%	42.2%	22.9%	J 処置	73.9%	72.5%	82.0%
K 手術	13.7%	43.9%	15.5%	K 手術	72.9%	68.3%	75.9%
L 麻酔	33.3%	57.1%	41.7%	L 麻酔	100.0%	90.0%	100.0%
M 放射線治療	0.0%	60.0%	0.0%	M 放射線治療	-	-	-
N 病理診断	0.0%	28.6%	0.0%	N 病理診断	83.3%	80.0%	83.3%

・SCRが90を下回る項目数は、以下のとおり(A~Nの全数)

[県全体]入院:137(18.4%)、外来:226(42.4%)、入院+外来:112(26.7%)

[直方・鞍手]入院:323(76.5%)、外来:270(73.8%)、入院+外来:286(80.6%)

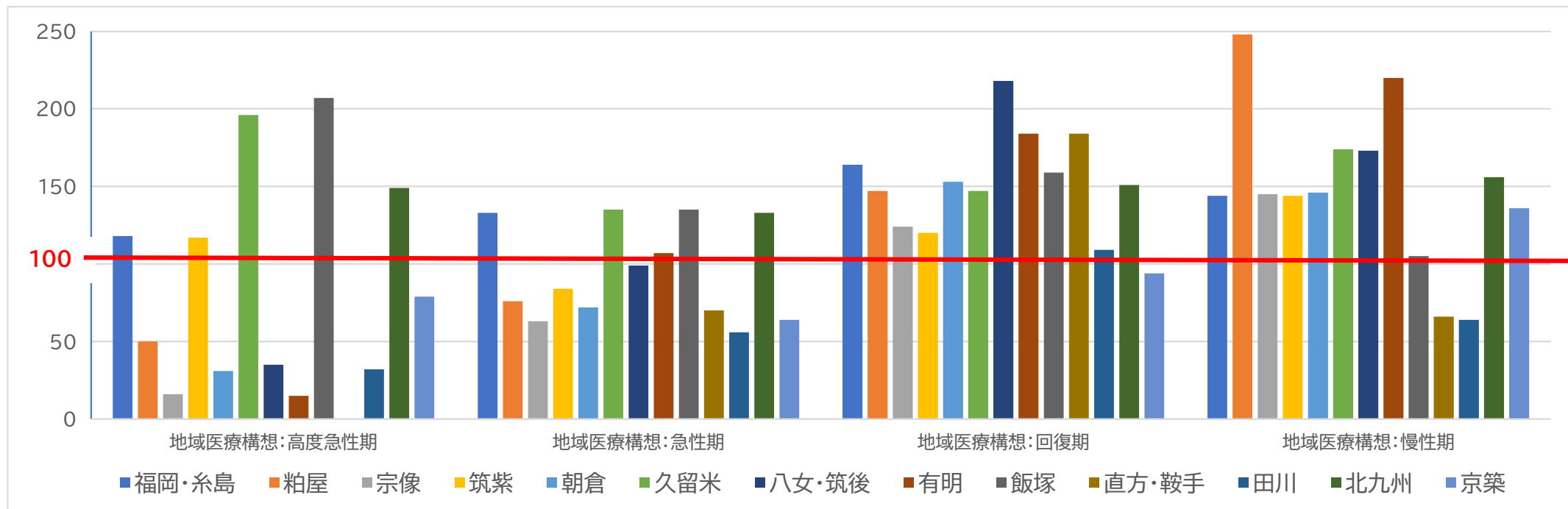
・直方・鞍手区域では、多くの分野で90を下回る項目が多い傾向があり、「麻酔」「画像」は全て90を下回っている

## 7. SCRの状況 (各圏域ごとの比較①)

※ 内閣府令和4年度診療分・二次医療圏別診療行為特別集計(東北大学藤森教授)

(独自の指標を作成し、それぞれ関連する診療行為コードを集計し、数値化したもの)

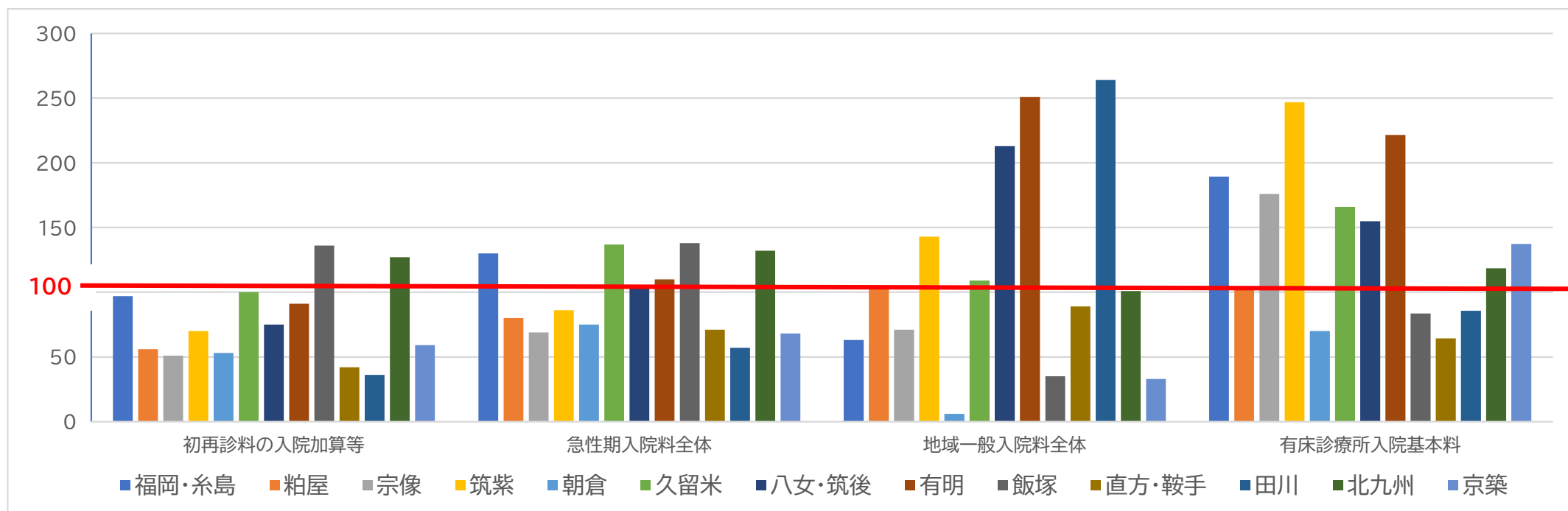
	福岡・糸島	粕屋	宗像	筑紫	朝倉	久留米	八女・筑後	有明	飯塚	直方・鞍手	田川	北九州	京築
地域医療構想:高度急性期	118	50	16	117	31	196	35	15	207		32	149	79
地域医療構想:急性期	133	76	63	84	72	135	99	107	135	70	56	133	64
地域医療構想:回復期	164	147	124	120	153	147	218	184	159	184	109	151	94
地域医療構想:慢性期	144	248	145	144	146	174	173	220	105	66	64	156	136



## 7. SCRの状況（各圏域ごとの比較②）

※ 内閣府令和4年度診療分・二次医療圏別診療行為特別集計(東北大学藤森教授)  
 (独自の指標を作成し、それぞれ関連する診療行為コードを集計し、数値化したもの)

	福岡・糸島	粕屋	宗像	筑紫	朝倉	久留米	八女・筑後	有明	飯塚	直方・鞍手	田川	北九州	京築
初再診料の入院加算等	97	56	51	70	53	100	75	91	136	42	36	127	59
急性期入院料全体	130	80	69	86	75	137	105	110	138	71	57	132	68
地域一般入院料全体	63	103	71	143	6	109	213	251	35	89	264	101	33
有床診療所入院基本料	190	103	176	247	70	166	155	222	84	64	86	119	137

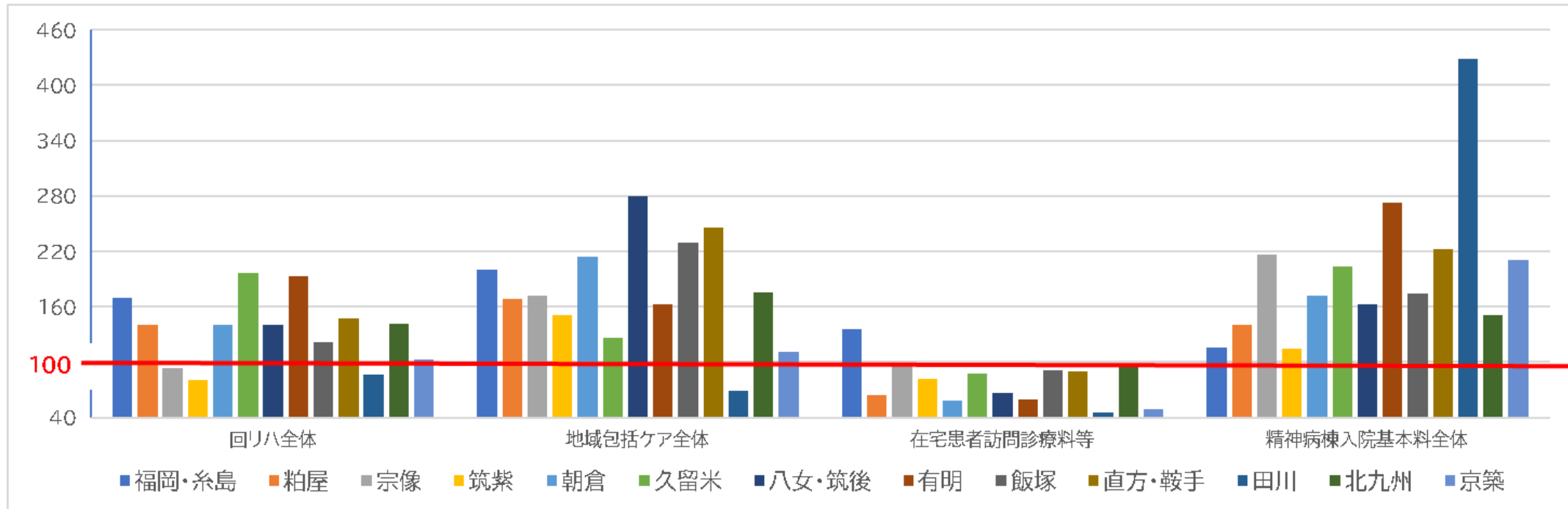


## 7. SCRの状況 (各圏域ごとの比較③)

※ 内閣府令和4年度診療分・二次医療圏別診療行為特別集計(東北大学藤森教授)

(独自の指標を作成し、それぞれ関連する診療行為コードを集計し、数値化したもの)

	福岡・糸島	粕屋	宗像	筑紫	朝倉	久留米	八女・筑後	有明	飯塚	直方・鞍手	田川	北九州	京築
回り八全体	170	140	94	80	140	196	140	193	122	147	86	141	103
地域包括ケア全体	200	168	172	151	214	126	280	163	229	246	69	175	111
在宅患者訪問診療料等	136	64	99	82	58	88	66	60	91	90	46	98	49
精神病棟入院基本料全体	116	140	216	114	172	204	162	273	174	222	429	151	211



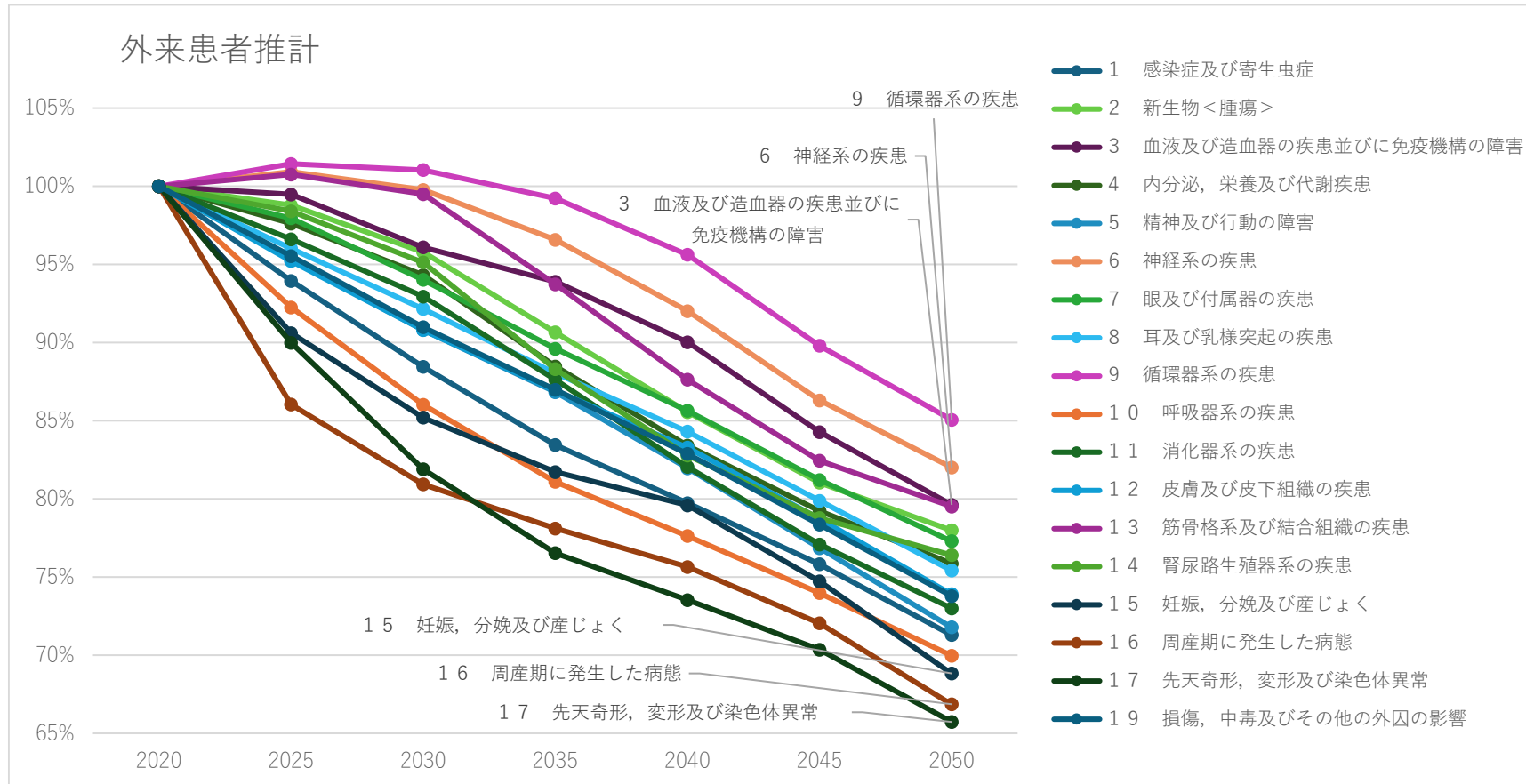
# 8. 患者推計 (産業医科大学:地域別人口変化分析ツールAll Japan Areal Population-change Analyses(AJAPA))

直方・鞍手区域(市区町村別の患者推計は、別紙資料1を参照)

## 【外来患者推計】

循環器系、神経系、筋骨格系については、2025年がピークで以降減少していく見込み

その他の分野はいずれも、2020年がピークで、漸次減少していく見込み



外来患者数は、多くの疾病が2050年時点で100%を下回っており、今後も外来患者は減り続けるものと思料

・減少率が大きい主な疾病は、次のとおり

系列17〔先天奇形、変形及び染色体異常〕  
(対応する診療科)

→小児科

系列16〔周産期に発生した病態〕

系列15〔妊娠、分娩及び産じょく〕

(対応する診療科)

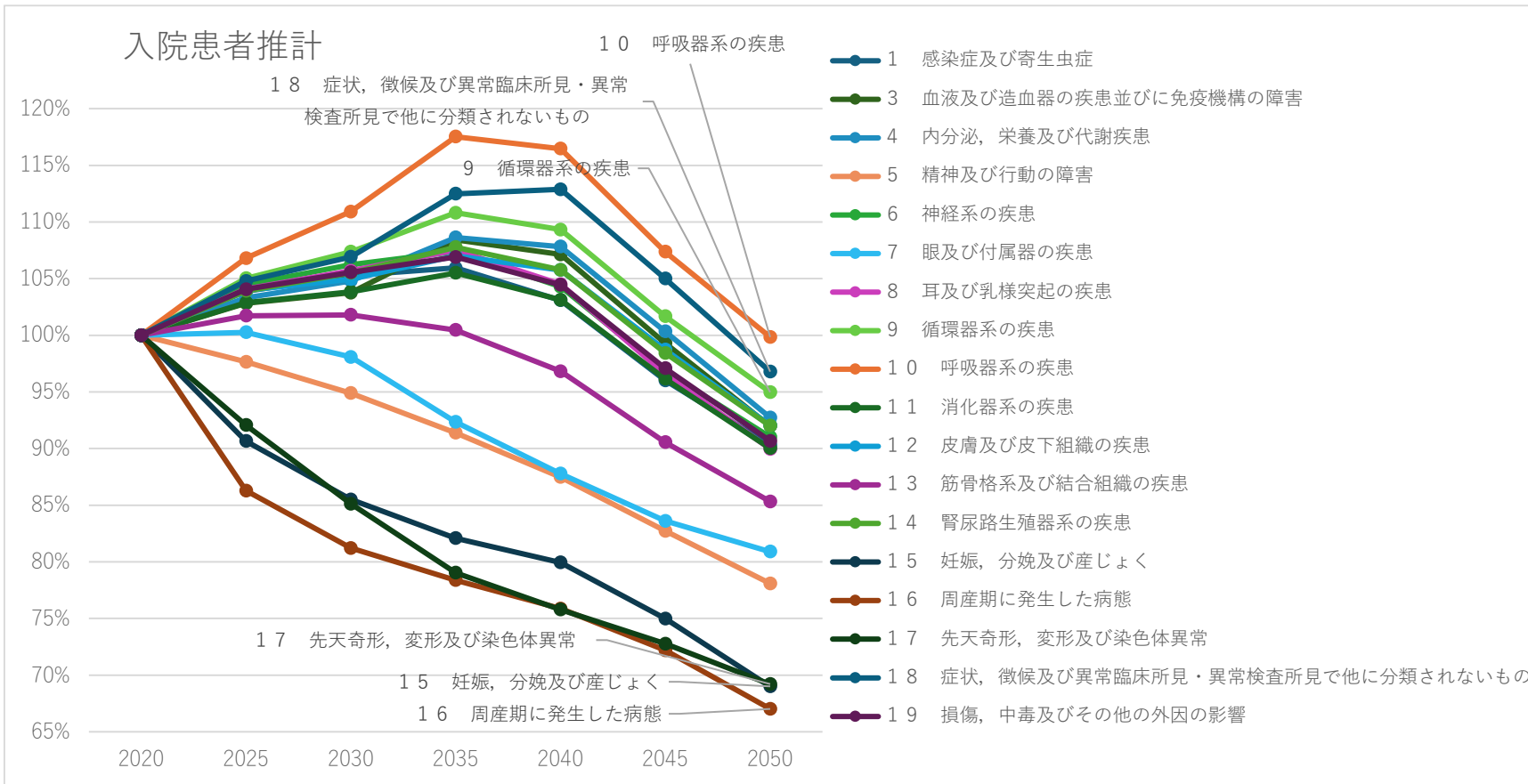
→産婦人科、産科、婦人科

## 8. 患者推計 (産業医科大学:地域別人口変化分析ツールAll Japan Areal Population-change Analyses(AJAPA))

### 【入院患者推計】

多くの疾患が2035年をピークに減少していく見込み

周産期、妊娠・分娩、先天奇形、精神系は、2020年以降、漸次減少していく見込み



2020年を基準とした入院患者数は、全ての疾病で、2050年時点で100%を上回っており、今後も入院患者は減り続けるものと思料

・2050年時点で、減少率が大きい主な疾病は、次のとおり

- 系列16〔周産期に発生した病態〕
- 系列15〔妊娠、分娩及び産じょく〕  
→産婦人科、産科、婦人科
- 系列17〔先天奇形、変形及び染色体異常〕  
(対応する診療科)  
→小児科
- 系列6〔精神及び行動の障害〕  
(対応する診療科)  
→精神科、心療内科

## 9. 医療従事者数〔医師〕（令和4年「医師・歯科医師・薬剤師調査」）※人口：福岡県人口移動調査（R4.12.1）

		医師数	人口10万人当たり
直方市	病院	123	221.5
	診療	51	91.9
宮若市	病院	72	129.7
	診療	49	191.3
小竹町	病院	32	125.0
	診療	17	66.4
鞍手町	病院	7	101.5
	診療	2	29.0
直方・鞍手 計	病院	5	72.5
	診療	24	163.4
福岡県 計	病院	18	122.6
	診療	6	40.9
		203	197.6
福岡県 計	病院	103	100.3
	診療	100	97.4
		15,968	312.0
福岡県 計	病院	11,025	215.4
	診療	4,943	96.6

◆医師偏在指標及び県内・全国順位（県内二次保健医療圏、周産期医療圏、小児科）

		医師偏在指標		
		数値	県内順位	全国順位
医師全体	福岡県	313.3	—	3/47
	粕屋	220.7	7/13	105/330
	宗像	198.4	10/13	168/330
	飯塚	341.3	3/13	21/330
	直方・鞍手	184.4	12/13	205/330
	田川	197.4	11/13	171/330
	北九州	301.6	4/13	38/330
産科	福岡県	11.0	—	12/47
	福岡	10.4	3/4	94/258
	筑後	11.6	2/4	71/258
	筑豊	8.7	4/4	147/258
	北九州	12.7	1/4	53/258
小児科	福岡県	122.0	—	16/47
	粕屋	81.7	11/13	250/303
	宗像	96.8	7/13	182/303
	飯塚	124.0	5/13	88/303
	直方・鞍手	81.5	12/13	251/303
	田川	119.8	6/13	103/303
北九州	132.7	2/13	58/303	

「福岡県医師確保計画（令和6年3月）「医師偏在指標及び県内・全国順位」から抜粋」

- ・人口10万人当たりの医師数が100を切っている市はないが、診療所勤務医師数は鞍手町で50を切っている
- ・医師偏在指標を見ると、直方・鞍手区域は医師全体の県内順位は12位、小児科医師も県内順位の12位と低位にある

## 9. 医療従事者数〔医師〕 診療所開設者年齢ピラミッド「公衆衛生等に係る医療の提供状況」(令和5年9月福岡県医療指導課)

年齢階級	粕屋	宗像	飯塚	直方・鞍手	田川	北九州	福岡県
90 -	0	0	2	0	0	6	23
85 - 89	1	5	1	1	2	3	43
80 - 84	2	4	4	1	2	18	74
75 - 79	4	3	7	8	6	39	208
70 - 74	18	5	15	9	13	88	466
65 - 69	24	6	24	16	15	138	550
60 - 64	30	24	17	10	11	117	544
55 - 59	18	6	10	4	3	102	419
50 - 54	11	8	11	4	10	74	321
45 - 49	13	11	5	2	2	30	243
40 - 44	8	1	3	2	1	30	121
35 - 39	0	0	0	3	1	5	31
30 - 34	0	2	0	0	0	0	9
- 29	0	0	0	0	0	0	1
Total	129	75	99	60	66	650	3,053

- ・診療所開設者の年齢ピラミッドを見ると、「65-69」がボリュームゾーンとなっている
- ・医師不足や後継者確保(継承)の困難さを鑑みると、10年後、20年後の体制を考えておく必要があるのではないか

## 10. 医療従事者数〔医師・診療科〕（令和4年「医師・歯科医師・薬剤師調査」）

外来 入院		減少 減少	減少 減少	減少 減少	減少 減少	減少 減少	減少 減少	減少 減少
	内科	整形外科	外科	精神科	消化器内科 (胃腸内科)	眼科	循環器内科	小児科
直方市	36	10	7	10	9	9	5	5
宮若市	23	3	6	4	1	1	2	2
小竹町	5	2	-	-	-	-	-	-
鞍手町	7	3	3	-	-	-	2	1
直方・鞍手	71	18	16	14	10	10	9	8

令和6年3月に策定した「福岡県外来医療計画」の構想区域の  
主な意見

- ・産科・小児科・脳神経外科が不足している
- ・救急医療については圏域外との連携が課題として挙げられる

外来 入院		減少 減少	減少 減少	減少 減少	減少 減少	減少 減少	減少 減少	減少 減少
	呼吸器内科	消化器外科 (胃腸外科)	耳鼻 いんこう科	泌尿器科	麻酔科	皮膚科	心療内科	脳神経外科
直方市	4	5	4	3	3	2	1	2
宮若市	-	-	2	1	1	1	-	-
小竹町	-	-	-	-	-	-	-	-
鞍手町	3	1	-	1	-	-	1	-
直方・鞍手	7	6	6	5	4	3	2	2

外来 入院		減少 減少	減少 減少	減少 減少	減少 減少	減少 減少	
	産婦人科	婦人科	放射線科	腎臓内科	糖尿病内科 (代謝内科)	形成外科	その他
直方市	2	2	1	-	1	-	2
宮若市	-	-	1	-	-	-	1
小竹町	-	-	-	-	-	-	-
鞍手町	-	-	-	1	-	1	-
直方・鞍手	2	2	2	1	1	1	3

※スライド21・22を基に、今後患者が増えていく見込みの診療科（入院・外来）は「増加」、減少していく見込みの診療科は「減少」としている

# 11. 医療従事者数〔常勤医師①〕（令和5年度「病床機能報告」）

市町村名	医療機関名	医師数		常勤医師割合	(参考) 看護師数	(参考) 准看護師数	許可病床数					病床稼働率((在棟・在院患者延べ数+退棟・退院患者数)/(許可病床数*365))	救急車受入数(※)	
							高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中			
直方市	社会保険直方病院		23.3	64.0%	123.6	17.9	0	106	50	0	0	84.0%	625	救急告示
		常勤	15		122	16								
		非常勤	8.3		1.6	1.9								
	独立行政法人地域医療機能推進機構 福岡ゆたか中央病院		17	100.0%	138.6	6.8	0	100	32	0	0	82.5%	767	
		常勤	17		133	6								
		非常勤	0		5.6	0.8								
	医療法人一寿会 西尾病院		12.1	41.0%	48.5	18	0	84	0	0	0	93.9%	328	
		常勤	5		41	18								
		非常勤	7.1		7.5	0								
	高山病院		0	-	0	0	0	50	0	0	0	0.0%	*	
常勤		0	0		0									
非常勤		0	0		0									
田中産婦人科クリニック		1	100.0%	4.9	6.5	0	9	0	0	0	146.0%	0		
	常勤	1		4	5									
	非常勤	0		0.9	1.5									
医療法人高橋内科クリニック		4.7	64.0%	30	2	0	14	0	0	0	36.6%	*		
	常勤	3		24	2									
	非常勤	1.7		6	0									
宮若市	医療法人相生会 宮田病院		19.8	71.0%	110	38.7	0	52	84	82	0	95.5%	801	救急告示
		常勤	14		105	36								
		非常勤	5.8		5	2.7								
	医療法人安倍病院		7.8	38.0%	26.8	14.4	0	0	60	0	0	86.7%	*	
		常勤	3		24	13								
		非常勤	4.8		2.8	1.4								
	医療法人笠松会有吉病院		0	-	17	11	0	0	0	56	0	89.2%	0	
		常勤	0		10	8								
		非常勤	0		7	3								
	鞍手共立病院		5	100.0%	36.9	63.3	0	0	0	48	0	81.8%	0	
常勤		5	36		61									
非常勤		0	0.9		2.3									

※月別の件数に1件～9件の数値がある場合、「\*」表記

# 11. 医療従事者数〔常勤医師②〕（令和5年度「病床機能報告」）

市町村名	医療機関名	医師数		常勤医師割合	(参考) 看護師数	(参考) 准看護師数	許可病床数					病床稼働率((在棟・在院患者延べ数+退棟・退院患者数)/(許可病床数*365))	救急車受入数(※)
							高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中		
宮若市	医療法人菅井眼科麻酔科医院		2	100.0%	1	3	0	8	0	0	0	4.1%	0
		常勤	2		1	3							
		非常勤	0		0	0							
小竹町	小竹町立病院		3.2	63.0%	16.4	7.2	0	0	56	0	0	39.3%	*
		常勤	2		16	7							
		非常勤	1.2		0.4	0.2							
	加来医院		5	60.0%	2	4	0	0	0	0	18	0.0%	0
		常勤	3		2	4							
		非常勤	2		0	0							
鞍手町	地方独立行政法人くらて病院		16.2	74.0%	143	8.8	0	100	122	0	0	79.6%	947
		常勤	12		118	1							
		非常勤	4.2		25	7.8							
	医療法人梅谷外科胃腸科医院		1	100.0%	2	5.4	0	0	16	0	0	29.9%	0
		常勤	1		2	4							
		非常勤	0		0	1.4							

※月別の件数に1件~9件の数値がある場合、「\*」表記

救急告示

救急告示

## 12. 医療介護資源の状況 (日医総研ワーキングペーパー(2023年4月第6版))

### ●【地域の概要】

一人当たり医療費(国保):404千円(偏差値57)

一人当たり介護給付費:274千円(偏差値53)

### ●【医療の現状】

病院数:12、人口10万人当たり11.5(偏差値62)

診療所数:100、人口10万人当たり95(偏差値57)

総医師数:261、人口10万人当たり249(偏差値44)

専門医数

小児科:9、人口10万人当たり8.6(偏差値45)

産婦人科:2、人口10万人当たり1.9(偏差値33)

総合内科:24、人口10万人当たり22.9(偏差値47)

看護師数:1,234、人口10万人当たり1,178(偏差値59)

### ●【介護施設や在宅ケアの現状】

高齢者施設・住宅定員数:2924、75歳以上1,000人当たり149(偏差値83)

(うち、介護保険施設定員:1530、75歳以上1,000人当たり78(偏差値66)

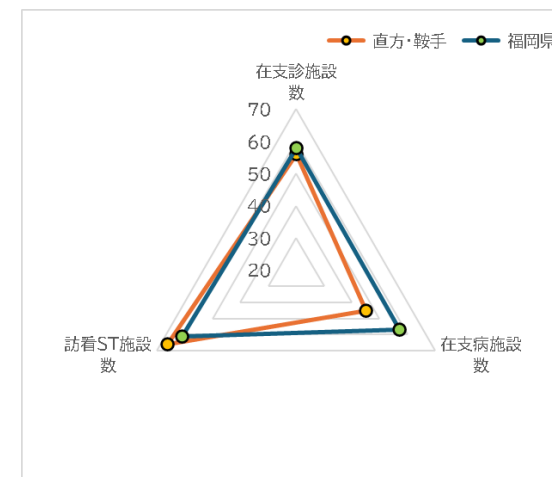
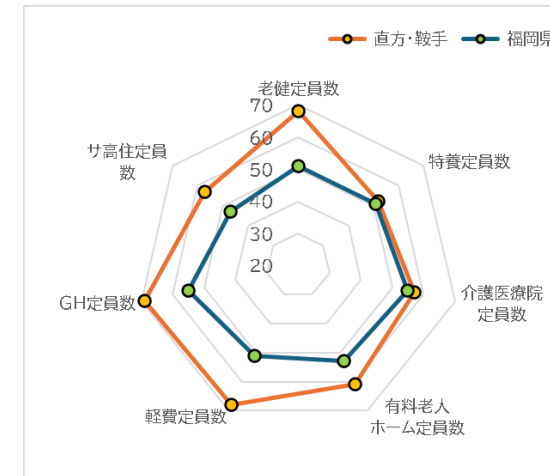
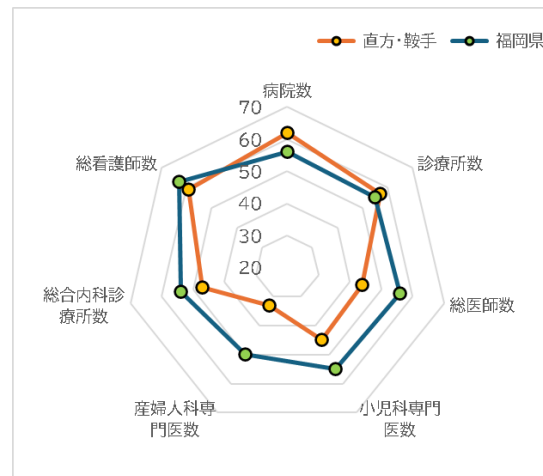
(うち、高齢者住宅定員:1394、75歳以上1,000人当たり71(偏差値72)

介護職員数:1,753、75歳以上1,000人当たり89(偏差値64)

施設別定員数:老健施設614(偏差値68)、特養680(偏差値52)、介護医療院90(偏差値57)

(75歳以上1,000人当たり)有料24(偏差値61)、軽費5.1(偏差値68)、GH22(偏差値69)、サ高住19.8(偏差値57)

在宅ケア(施設数):在支診21(偏差値56)、在支病1(偏差値45)、訪看ST23(偏差値66)



## 12. 医療介護資源の状況 (厚生労働省「医療施設調査」)

### ●医療施設数(病院、一般診療所H28→R5推移)(在宅療養支援診療所H26→R5推移)(訪問看護STIはH29→R7推移)

医療施設数等	病院	一般診療所		訪問看護ステーション
		在宅療養支援診療所		
福岡県	461 → 453	4,654 → 4,806	866 → 767	493 → 1,086
粕屋	26 → 26	174 → 192	29 → 28	24 → 36
宗像	14 → 14	117 → 117	20 → 18	10 → 22
飯塚	22 → 20	167 → 164	20 → 22	20 → 45
直方・鞍手	12 → 12	103 → 100	19 → 18	11 → 25
田川	16 → 16	108 → 113	17 → 17	24 → 47
北九州	102 → 101	1,062 → 1,044	211 → 180	102 → 234

出所:病院、診療所数は厚生労働省「医療施設調査(動態)(平成28年10月1日現在)」、「医療施設調査(静態・動態)(令和5年10月1日現在)」

出所:在宅療養支援診療所数は厚生労働省「医療施設調査(静態・動態)(平成26年、令和5年10月1日現在)」

出所:訪問看護ステーション数は県医療指導課データ

※1 在宅療養支援診療所数は、平成26年4月、令和5年4月現在診療報酬施設基準による

※2 訪問看護ステーションは、平成29年4月1日現在、令和7年7月1日現在の介護保険法に基づく指定数

### ●小児科標榜医療機関数(H26→R2推移)

	医療機関数			小児人口10万人対 医療機関数
	病院	診療所		
福岡県	361 → 361	96 → 97	265 → 264	53.4 → 55.9
粕屋	18 → 19	5 → 5	13 → 14	38.3 → 40.0
宗像	12 → 11	2 → 2	10 → 9	55.9 → 45.3
飯塚	14 → 16	5 → 6	9 → 10	62.3 → 73.7
直方・鞍手	10 → 11	3 → 3	7 → 8	74.3 → 86.4
田川	10 → 9	6 → 5	4 → 4	62.7 → 62.5
北九州	71 → 72	24 → 26	47 → 46	52.1 → 65.8

出所:「医療施設調査」(平成26年、令和2年)

※診療所は、「小児科が主たる診療科」+「小児科単科」。

### ●市町別医療施設数(病院、一般診療所H28→R5推移)

	病院数		一般診療所数	
	平成28年	令和5年	平成28年	令和5年
直方市	6 →	6	67 →	66
宮若市	4 →	4	23 →	20
小竹町	1 →	1	6 →	6
鞍手町	1 →	1	7 →	8
直方・鞍手	12 →	12	103 →	100

### ●分娩取扱医療機関数(H26→R5推移)

医療施設数等	病院	診療所
福岡県	34 → 28	88 → 63
粕屋	1 → 1	5 → 5
宗像	1 → 0	4 → 3
飯塚	2 → 2	2 → 2
直方・鞍手	0 → 0	1 → 1
田川	2 → 2	0 → 0
北九州	10 → 8	18 → 9

出所:厚生労働省「医療施設調査(静態・動態)(各年10月1日現在)」(平成26年、令和5年)による

# 13. 医療介護資源の状況〔看護師数・介護職員数〕（日医総研ワーキングペーパー（2023年4月第6版））

●看護師数(総数、病院看護師数、診療所看護師数)※令和2年10月

二次医療圏	総看護師数	人口 10万人当たり	病院 看護師数	人口 10万人当たり	診療所 看護師数	人口 10万人当たり
福岡・糸島	20,608	1,204	15,650	915	4,958	290
粕屋	3,095	1,057	2,496	852	599	204
宗像	1,595	972	1,200	731	395	241
筑紫	3,520	801	2,567	584	953	217
朝倉	862	1,054	652	797	210	257
久留米	6,953	1,535	5,552	1,226	1,401	309
八女・筑後	1,831	1,415	1,407	1,087	424	327
有明	3,687	1,742	2,927	1,383	760	359
飯塚	2,903	1,661	2,340	1,340	562	322
直方・鞍手	1,234	1,178	952	909	282	270
田川	1,784	1,512	1,377	1,167	407	345
北九州	16,061	1,500	12,881	1,203	3,179	297
京築	1,912	1,043	1,379	752	533	291
福岡県	66,044	1,286	51,381	1,001	14,663	286
全国	1,164,671	923	918,226	728	246,444	195

出典：厚生労働省「令和2年医療施設静態調査」

・総看護師数の人口10万人当たり人数を見ると、直方・鞍手区域は、県全体よりも少なく、全国より多い状況となっている

・勤務場所別で見ると、人口10万人当たり病院看護師は、県全体より少なく、全国より多い状況となっている

・人口10万人当たり診療所看護師は、県全体よりも少なく、全国より多いという状況である

### 13. 医療介護資源の状況〔看護師数・介護職員数〕（日医総研ワーキングペーパー（2023年4月第6版））

●介護サービス従事看護師数（介護施設、訪問看護）（常勤換算）※令和4年5月 常勤換算

二次医療圏	介護サービス 従事看護師数	75歳以上 1,000人当たり		75歳以上 1,000人当たり	
		看護師数 (施設)	看護師数 (訪問)	看護師数 (施設)	看護師数 (訪問)
福岡・糸島	2,649	14.4	7.7	1,415	1,235
粕屋	557	16.8	13.4	445	112
宗像	227	9.5	6.8	162	65
筑紫	498	9.8	5.3	269	228
朝倉	151	10.8	8.2	114	37
久留米	796	11.9	6.2	416	380
八女・筑後	256	11.7	8.0	174	82
有明	469	11.5	8.9	360	109
飯塚	370	12.7	8.8	255	115
直方・鞍手	307	15.6	9.8	194	114
田川	394	17.4	9.7	220	175
北九州	1,883	10.5	6.6	1,179	704
京築	394	12.9	9.6	294	101
福岡県	8,952	12.5	7.7	5,497	3,455
全国	188,635	10.1	6.4	119,762	68,873

出典：厚生労働省「介護サービス情報公表システム」（令和4年5月）

・介護サービス従事看護師数の75歳以上1,000人当たり人数を見ると、直方・鞍手区域は、県全体、全国よりも多い状況となっている

・75歳以上1,000人当たり従事者数を勤務場所別で見ると、介護施設は9.8人と県全体、全国よりも多い状況となっている

・訪問看護は、5.8人と県全体、全国よりも多い状況となっている

# 13. 医療介護資源の状況〔看護師数・介護職員数〕（日医総研ワーキングペーパー（2023年4月第6版））

●介護サービス従事介護職員数（介護施設等、在宅介護）※令和4年5月 常勤換算

二次医療圏	介護サービス従事 介護職員数	75歳以上 1,000人当たり	介護職員数 (介護施設等)	75歳以上 1,000人当たり	介護職員数 (在宅)	75歳以上 1,000人当たり
福岡・糸島	16,014	87.0	13,038	71.0	2976	16.2
粕屋	2,315	70.0	2,038	62.0	277	8.4
宗像	1,758	74.0	1,559	66.0	199	8.4
筑紫	3,653	72.0	3,131	62.0	523	10.3
朝倉	1282	92.0	1226	88.0	56	4.0
久留米	6,182	93.0	5,517	83.0	665	10.0
八女・筑後	2,199	101.0	1,964	90.0	235	10.8
有明	3,884	96.0	3,376	83.0	508	12.5
飯塚	2,833	97.0	2,361	81.0	472	16.2
直方・鞍手	2,005	102.0	1753	89.0	252	12.8
田川	3,189	141.0	2,600	115.0	588	26.0
北九州	15,195	84.0	12,896	72.0	2299	12.8
京築	2,565	84.0	2,252	73.0	313	10.2
福岡県	63,075	88.0	53,711	75.0	9364	13.1
全国	1,556,622	84.0	1,327,531	71.0	229090	12.3

出典：厚生労働省「介護サービス情報公表システム」（令和4年5月）

・介護サービス従事介護職員数の75歳以上1,000人当たり人数を見ると、直方・鞍手区域は、県全体、全国よりも多い状況となっている

・75歳以上1,000人当たり人数を勤務場所別で見ると、介護施設等は89.0人と県全体、全国よりも多い状況となっている

在宅については、12.8人と県全体よりも少なく、全国よりも多い状況となっている

# 13. 医療介護資源の状況〔看護師数・介護職員数〕（「衛生行政報告例」）

## ●就業場所別の看護師数

福岡県	看護師								
	実数	人口10万人 当たり	割合	就業場所別 二次医療圏ごとの就業場所別人数(斜体)は推計値					
				病院	診療所	訪問看護 ステーション	介護保険 施設等	社会福祉 施設	その他
	65,134	1,273.1		47,399	9,078	3,126	3,279	419	1,833
福岡・糸島	20,818	1,202.5	32.0%	15,150	2,901	999	1,048	134	586
粕屋	3,176	1,083.5	4.9%	2,311	443	152	160	20	89
宗像	1,740	1,050.4	2.7%	1,266	243	84	88	11	49
筑紫	3,795	859.9	5.8%	2,762	529	182	191	24	107
朝倉	871	1,079.4	1.3%	634	121	42	44	6	25
久留米	6,885	1,532.0	10.6%	5,010	960	330	347	44	194
八女・筑後	1,794	1,401.8	2.8%	1,306	250	86	90	12	50
有明	3,459	1,684.0	5.3%	2,517	482	166	174	22	97
飯塚	2,521	1,470.8	3.9%	1,835	351	121	127	16	71
直方・鞍手	1,066	1,037.8	1.6%	776	149	51	54	7	30
田川	1,378	1,207.3	2.1%	1,003	192	66	69	9	39
北九州	15,962	1,514.2	24.5%	11,616	2,225	766	804	103	449
京築	1,669	923.2	2.6%	1,215	233	80	84	11	47

・看護師数の人口10万人当たり人数を見ると、直方・鞍手区域は、県平均よりも少ない状況となっている

・直方・鞍手区域について、就業場所別に見ると、病院が最も多く、次いで診療所、介護保険施設等となっており、病院と診療所で87%を占めている

※二次医療圏ごとの就業場所別の人数(斜体)は、就業場所別の県全体の人数に看護師実数の二次医療圏ごとの割合を掛けて推計したものの

厚生労働省「衛生行政報告例」(2022(令和4)年12月31日現在)

福岡県「人口移動調査」(2022(令和4)年10月1日現在)

# 13. 医療介護資源の状況〔看護師数・介護職員数〕（「衛生行政報告例」）

## ●就業場所別の准看護師数

福岡県	准看護師								
	実数	人口10万人 当たり	割合	就業場所別 二次医療圏ごとの就業場所別人数(斜体)は推計値					
				病院	診療所	訪問看護 ステーション	介護保険 施設等	社会福祉 施設	その他
	13,995	273.6		5,542	5,445	357	2,211	288	152
福岡・糸島	2,893	167.1	20.7%	1,146	1,126	74	457	60	31
粕屋	662	225.8	4.7%	262	258	17	105	14	7
宗像	337	203.4	2.4%	133	131	9	53	7	4
筑紫	757	171.5	5.4%	300	295	19	120	16	8
朝倉	297	368.1	2.1%	118	116	8	47	6	3
久留米	1,451	322.9	10.4%	575	565	37	229	30	16
八女・筑後	542	423.5	3.9%	215	211	14	86	11	6
有明	1,198	583.2	8.6%	474	466	31	189	25	13
飯塚	786	458.6	5.6%	311	306	20	124	16	9
直方・鞍手	534	519.9	3.8%	211	208	14	84	11	6
田川	807	707.0	5.8%	320	314	21	127	17	9
北九州	3,014	285.9	21.5%	1,194	1,173	77	476	62	33
京築	717	396.6	5.1%	284	279	18	113	15	8

・准看護師数の人口10万人当たり人数を見ると、直方・鞍手区域は、県平均よりもかなり多い状況となっている

・直方・鞍手区域について、就業場所別に見ると、病院と診療所がほぼ同数で、次いで介護保険施設等となっており、病院と診療所で79%を占めている

※二次医療圏ごとの就業場所別の人数(斜体)は、就業場所別の県全体の人数に看護師実数の二次医療圏ごとの割合を掛けて推計したもの

厚生労働省「衛生行政報告例」(2022(令和4)年12月31日現在)

福岡県「人口移動調査」(2022(令和4)年10月1日現在)

## 14. 在宅医療の状況

### 福岡県在宅療養支援診療所等調査(高齢者地域包括ケア推進課)

#### 【調査対象】

九州厚生局に在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、在宅時医学総合管理料及び施設入居時等医学総合管理料の届出を行っている施設

#### 【調査時期】

毎年5月～7月頃

#### 【回収状況】

令和5年度回答率94.9%

令和7年度回答率97.0%

#### 【項目の説明】

訪問診療:調査対象月1ヶ月間の訪問診療患者数(医療機関所在地ベース)の実数

小児:調査対象月1ヶ月間の19歳以下の訪問診療患者数(医療機関所在地ベース)の実数

在宅看取り:調査前年度1年間の在宅看取り(施設看取り含む)患者数(医療機関所在地ベース)の実数

# 14. 在宅医療の状況 (高齢者地域包括ケア推進課「福岡県在宅療養支援診療所等調査」)

## ●在宅医療機関数

	R5年度				R7年度				R5年度→R7年度の推移				今後の意向 ※R5年度調査		
	医療機関数	患者数			医療機関数	患者数			医療機関数の増減	患者数			現在より積極的に取り組みたい	現状維持	今後は減らす、または在宅医療から撤退する予定
		訪問診療	小児	在宅看取り		訪問診療	小児	在宅看取り		訪問診療	小児	在宅看取り			
福岡・糸島	401	17,824	210	2,456	423	21,874	333	2,790	22	4,050	123	334	101	193	20
粕屋	50	1,154	0	249	50	1,167	12	192	0	13	12	-57	12	26	4
宗像	32	1,421	27	272	32	1,531	46	228	0	110	19	-44	6	20	1
筑紫	69	2,719	7	408	73	3,675	16	623	4	956	9	215	23	32	5
朝倉	37	571	7	79	36	728	12	97	-1	157	5	18	13	22	2
久留米	160	3,627	48	924	158	4,311	81	923	-2	684	33	-1	31	89	8
八女・筑後	45	779	2	318	45	849	1	243	0	70	-1	-75	8	22	4
有明	73	1,595	1	322	72	1,661	5	280	-1	66	4	-42	17	41	2
飯塚	40	1,715	13	485	43	1,959	23	423	3	244	10	-62	10	22	4
直方・鞍手	35	1,355	0	190	34	1,308	1	249	-1	-47	1	59	6	18	2
田川	28	931	0	74	33	1,296	2	72	5	365	2	-2	6	16	2
北九州	323	9,453	20	1,888	329	12,153	122	2,110	6	2,700	102	222	61	165	25
京築	36	810	4	336	35	1,087	9	314	-1	277	5	-22	2	28	3
総数	1,329	43,954	339	8,001	1,363	53,599	663	8,544	34	9,645	324	543	296	694	82

・直方・鞍手区域の令和5年度調査による在宅医療への今後の意向は、「現在より積極的に取り組みたい」が6件、「現状維持」が18件、「今後は減らす、または在宅医療から撤退する予定」が2件という結果であり、令和5年度から7年度の推移を見ると、医療機関数は1件減少し、訪問診療患者数も減少しているが、在宅看取り患者数は増加している

# 14. 在宅医療の状況 (高齢者地域包括ケア推進課「福岡県在宅療養支援診療所等調査」)

●在宅医療に従事する医師数(R7年度)

	医師数				医師の年齢別											
	常勤	非常勤 (常勤換算)	常勤+常勤 換算数		29歳以下		30~39歳		40~49歳		50~59歳		60~69歳		70歳以上	
福岡・糸島	849	531	89.1	620.1	7	(0.8%)	140	(16.5%)	203	(23.9%)	195	(23.0%)	175	(20.6%)	129	(15.2%)
粕屋	74	60	9.6	69.6	0	(0.0%)	3	(4.1%)	10	(13.5%)	30	(40.5%)	24	(32.4%)	7	(9.5%)
宗像	68	40	6.4	46.4	1	(1.5%)	5	(7.4%)	16	(23.5%)	26	(38.2%)	16	(23.5%)	4	(5.9%)
筑紫	178	100	18.5	118.5	5	(2.8%)	24	(13.5%)	52	(29.2%)	44	(24.7%)	33	(18.5%)	20	(11.2%)
朝倉	80	50	5.6	55.6	2	(2.5%)	13	(16.3%)	22	(27.5%)	11	(13.8%)	16	(20.0%)	16	(20.0%)
久留米	234	188	15.6	203.6	1	(0.4%)	19	(8.1%)	58	(24.8%)	55	(23.5%)	56	(23.9%)	45	(19.2%)
八女・筑後	81	63	13.0	76.0	1	(1.2%)	9	(11.1%)	18	(22.2%)	16	(19.8%)	24	(29.6%)	13	(16.0%)
有明	124	95	9.1	104.1	1	(0.8%)	10	(8.1%)	23	(18.5%)	19	(15.3%)	34	(27.4%)	37	(29.8%)
飯塚	101	56	10.0	66.0	1	(1.0%)	37	(36.6%)	18	(17.8%)	11	(10.9%)	17	(16.8%)	17	(16.8%)
直方・鞍手	46	37	2.7	39.7	0	(0.0%)	7	(15.2%)	9	(19.6%)	9	(19.6%)	12	(26.1%)	9	(19.6%)
田川	50	36	7.6	43.6	0	(0.0%)	4	(8.0%)	7	(14.0%)	16	(32.0%)	11	(22.0%)	12	(24.0%)
北九州	551	362	50.7	412.7	8	(1.5%)	78	(14.2%)	103	(18.7%)	127	(23.0%)	131	(23.8%)	104	(18.9%)
京築	81	48	6.7	54.7	0	(0.0%)	16	(19.8%)	18	(22.2%)	13	(16.0%)	17	(21.0%)	17	(21.0%)
総数	2,517	1,666	244.6	1,910.6	27	(1.1%)	365	(14.5%)	557	(22.1%)	572	(22.7%)	566	(22.5%)	430	(17.1%)

・在宅医療を行う医師の年齢別割合を見ると、直方・鞍手区域では、「60~69歳」が26.1%で最も高く、「40~49歳」、「50~59歳」、「70歳以上」がいずれも19.6%となっている

・今後、老年人口が増えていき、ますます在宅医療への需要が高まることが見込まれる中、現在の年齢構成を考えた際、10年後、20年後に体制を維持することが出来るのか、検討をする必要があるのではないか

# 14. 在宅医療の状況 (高齢者地域包括ケア推進課「福岡県在宅療養支援診療所等調査」)

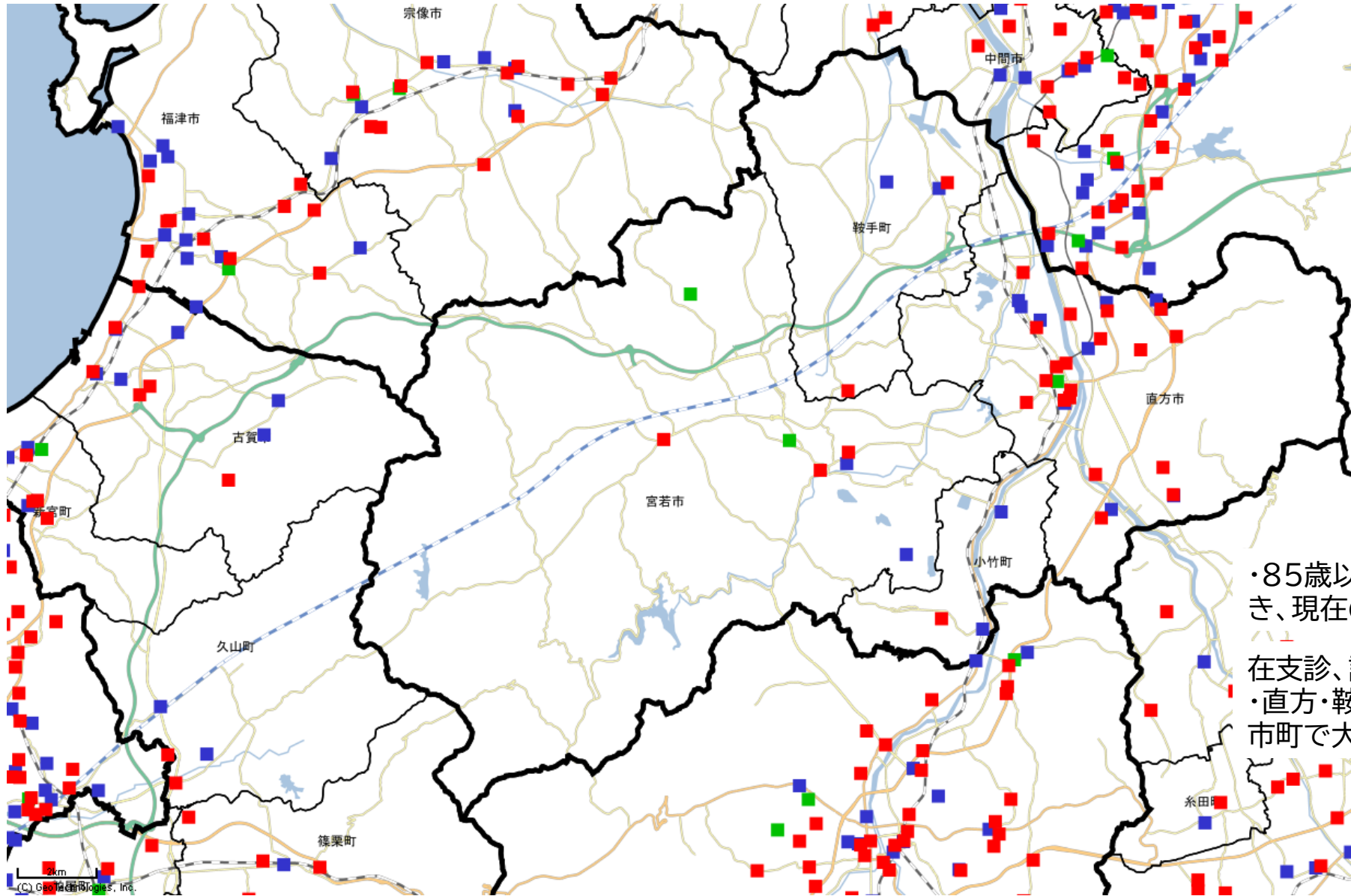
## ●在宅医療機関数(市町別)

	R5年度				R7年度				R5年度→R7年度の推移				今後の意向 ※R5年度調査		
	医療機関数	患者数			医療機関数	患者数			医療機関数の増減	患者数			現在より積極的に取り組みたい	現状維持	今後は減らす、または在宅医療から撤退する予定
		訪問診療	小児	在宅看取り		訪問診療	小児	在宅看取り		訪問診療	小児	在宅看取り			
直方市	23	776	0	110	21	657	1	189	-2	-119	1	79	5	11	2
宮若市	6	356	0	22	7	357	0	23	1	1	0	1	0	3	0
小竹町	3	130	0	53	3	216	0	32	0	86	0	-21	1	1	0
鞍手町	3	93	0	5	3	78	0	5	0	-15	0	0	0	3	0
直方・鞍手	35	1,355	0	190	34	1,308	1	249	-1	-47	1	59	6	18	2

## ●在宅医療に従事する医師数(R7年度)(市町別)

	医師数				医師の年齢別											
	常勤	非常勤 (常勤換算)	常勤+非常勤 換算数		29歳以下		30~39歳		40~49歳		50~59歳		60~69歳		70歳以上	
直方市	27	24	1.2	25.2	0	(0.0%)	1	(3.7%)	6	(22.2%)	7	(25.9%)	8	(29.6%)	5	(18.5%)
宮若市	12	6	1.5	7.5	0	(0.0%)	6	(50.0%)	1	(8.3%)	2	(16.7%)	2	(16.7%)	1	(8.3%)
小竹町	4	4	0.0	4.0	0	(0.0%)	0	(0.0%)	2	(50.0%)	0	(0.0%)	1	(25.0%)	1	(25.0%)
鞍手町	3	3	0.0	3.0	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(33.3%)	2	(66.7%)
直方・鞍手	46	37	2.7	39.7	0	(0.0%)	7	(15.2%)	9	(19.6%)	9	(19.6%)	12	(26.1%)	9	(19.6%)

# 14. 在宅医療の状況 (在支診、在支病、訪問看護STの位置)



直方・鞍手 区域	在支診	在支病	訪問看護 ST
直方市	10	1	19
宮若市	2	2	3
小竹町	2	0	1
鞍手町	2	0	2
合計	16	3	25

R7.7.1時点

85歳以上	2020年	2040年	増加率 (20→40)
直方市	3,643	5,332	46.4%
宮若市	2,065	2,717	31.6%
小竹町	555	865	55.9%
鞍手町	983	1,676	70.5%
直方・鞍手計	7,246	10,590	46.1%

・85歳以上人口の今後の増加率を考えたとき、現在の体制で対応できるかどうか

在支診、訪問看護STは直方市に集中している  
 ・直方・鞍手区域の中でも、直方市とそれ以外の市町で大きな差があることが分かる

## 15. 看護職員の状況

### 看護職員確保に係る実態調査(医療指導課医師・看護職員確保対策室)

#### 【調査対象】

(1)施設調査:6,451施設

病院(451)、診療所(4,205)、訪問看護ステーション(984)、介護老人保健施設(173)、介護老人福祉施設(439)、介護医療院(55)、障がい児者施設(施設入所・療養介護)(144)、その他(無回答含む)(48)

(2)看護職員調査:10,208人

上記施設に勤務する看護職員

#### 【調査方法】

対象施設に郵送により依頼し、ふくおか電子申請サービスにて回答

#### 【調査時期】

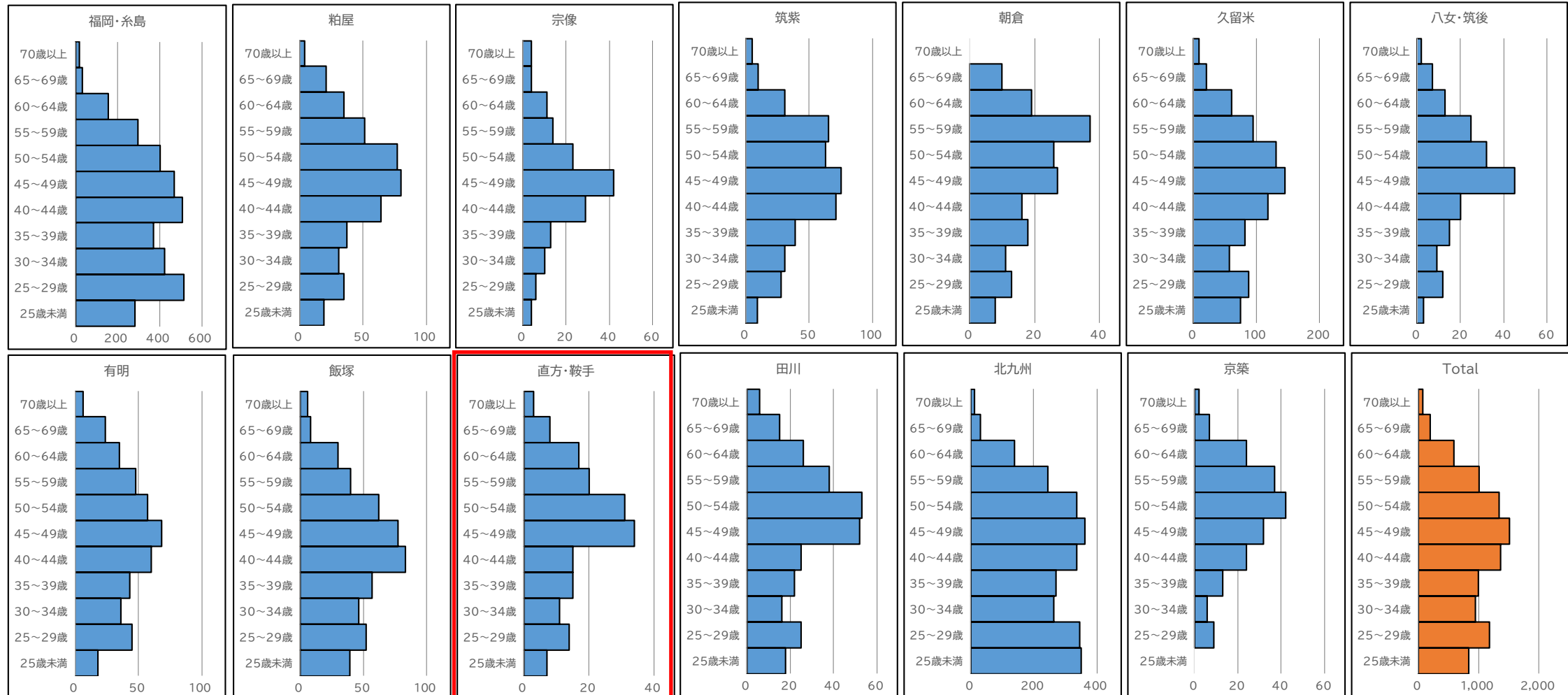
令和6年11月18日(月)～12月13日(金)

#### 【回収状況】

施設2,201件(回収率34.1%)／看護職員回収10,208人

# 15. 看護職員の状況 (医療指導課医師・看護職員確保対策室「看護職員確保に係る実態調査」)

## ●二次医療圏・年齢階級別看護師数



- ・直方・鞍手区域の年齢構成ピラミッドを見ると、45歳以上の年代層が多い状況になっている
- ・看護師確保の困難さが言及されているなか、このままの年齢構成で10~20年後を考えた際、医療提供体制を維持できるか

## 16. 二次医療圏の人口及び流入流出患者割合・比較表 (厚生労働省「患者調査-二次医療圏編」)

二次医療圏	人口				推計流入患者割合			推計流出患者割合		
	H28.8.1時点	R5.8.1時点	差	(増減割合)	H26調査	R5調査	差	H26調査	R5調査	差
福岡・糸島	1,648,241	1,740,857	92,616	(5.32%)	19.1	21.8	2.7	13.2	12.4	▲ 0.8
粕屋	285,000	292,622	7,622	(2.60%)	44.9	42.1	▲ 2.8	39.1	41.1	2.0
宗像	156,744	165,602	8,858	(5.35%)	35.3	33.5	▲ 1.8	34.7	40.9	6.2
筑紫	434,568	440,919	6,351	(1.44%)	33.5	30.6	▲ 2.9	37.2	40.6	3.4
朝倉	83,209	80,348	▲ 2,861	(▲3.56%)	21.3	22.5	1.2	42.1	30.0	▲ 12.1
久留米	455,840	447,316	▲ 8,524	(▲1.91%)	34.5	31.8	▲ 2.7	23.9	22.8	▲ 1.1
八女・筑後	132,283	127,106	▲ 5,177	(▲4.07%)	25.0	27.3	2.3	29.4	34.9	5.5
有明	220,974	202,644	▲ 18,330	(▲9.05%)	20.0	18.4	▲ 1.6	21.8	18.9	▲ 2.9
飯塚	180,023	170,014	▲ 10,009	(▲5.89%)	21.9	23.5	1.6	26.8	25.9	▲ 0.9
直方・鞍手	108,047	101,892	▲ 6,155	(▲6.04%)	25.0	25.8	0.8	36.5	40.4	3.9
田川	124,830	112,634	▲ 12,196	(▲10.83%)	21.1	27.3	6.2	22.4	28.4	6.0
北九州	1,091,345	1,046,238	▲ 45,107	(▲4.31%)	8.2	9.0	0.8	7.7	7.3	▲ 0.4
京築	184,053	179,800	▲ 4,253	(▲2.37%)	20.3	20.2	▲ 0.1	33.2	28.4	▲ 4.8
福岡県	5,105,157	5,107,992	2,835	(0.06%)	21.5	22.0	0.5	20.4	20.5	0.1

直方・鞍手区域は、H28年からR5年の7年間で人口が6,155人減少(6.0%減)している

この7年間で推計流入患者割合は0.8ポイント増加、推計流出患者割合は3.9ポイント増加している

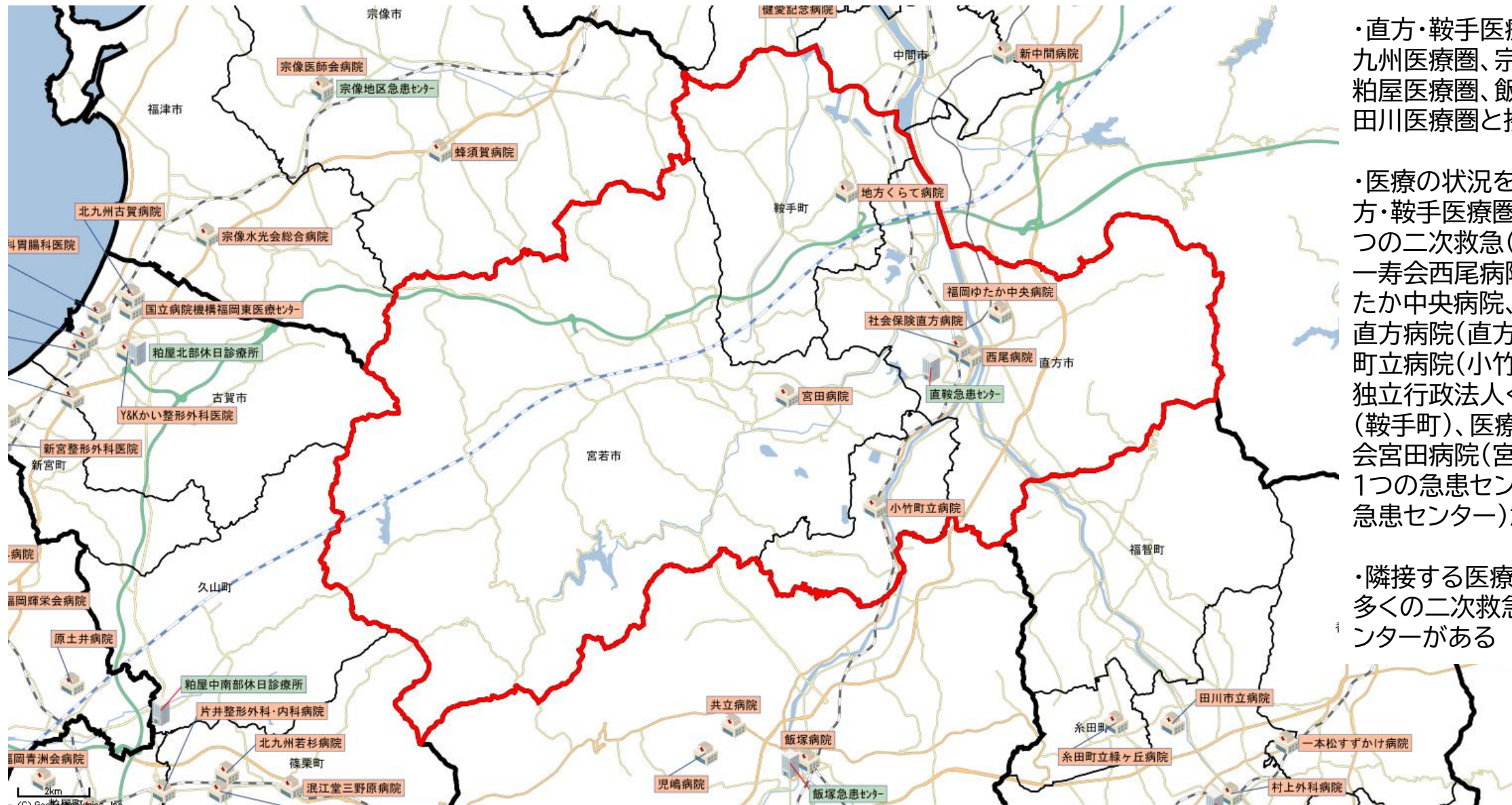
R5年の流出患者割合は40%に達し、流出傾向が強くなっている状況が見られる

※ 人口:福岡県人口移動調査「福岡県の人口と世帯(推計)」(平成28年8月1日現在、令和5年8月1日現在)

※ 推計流入患者割合、推計流出患者割合:厚生労働省「患者調査」(平成26年10月、令和5年10月)

病院の推計入院患者数の圏内への流入患者割合・圏外への流出患者割合、二次医療圏内・二次医療圏外が不詳の者を推計患者数から除いて算出

## 17. 二次救急及び急患センターの位置(隣接区域含む)

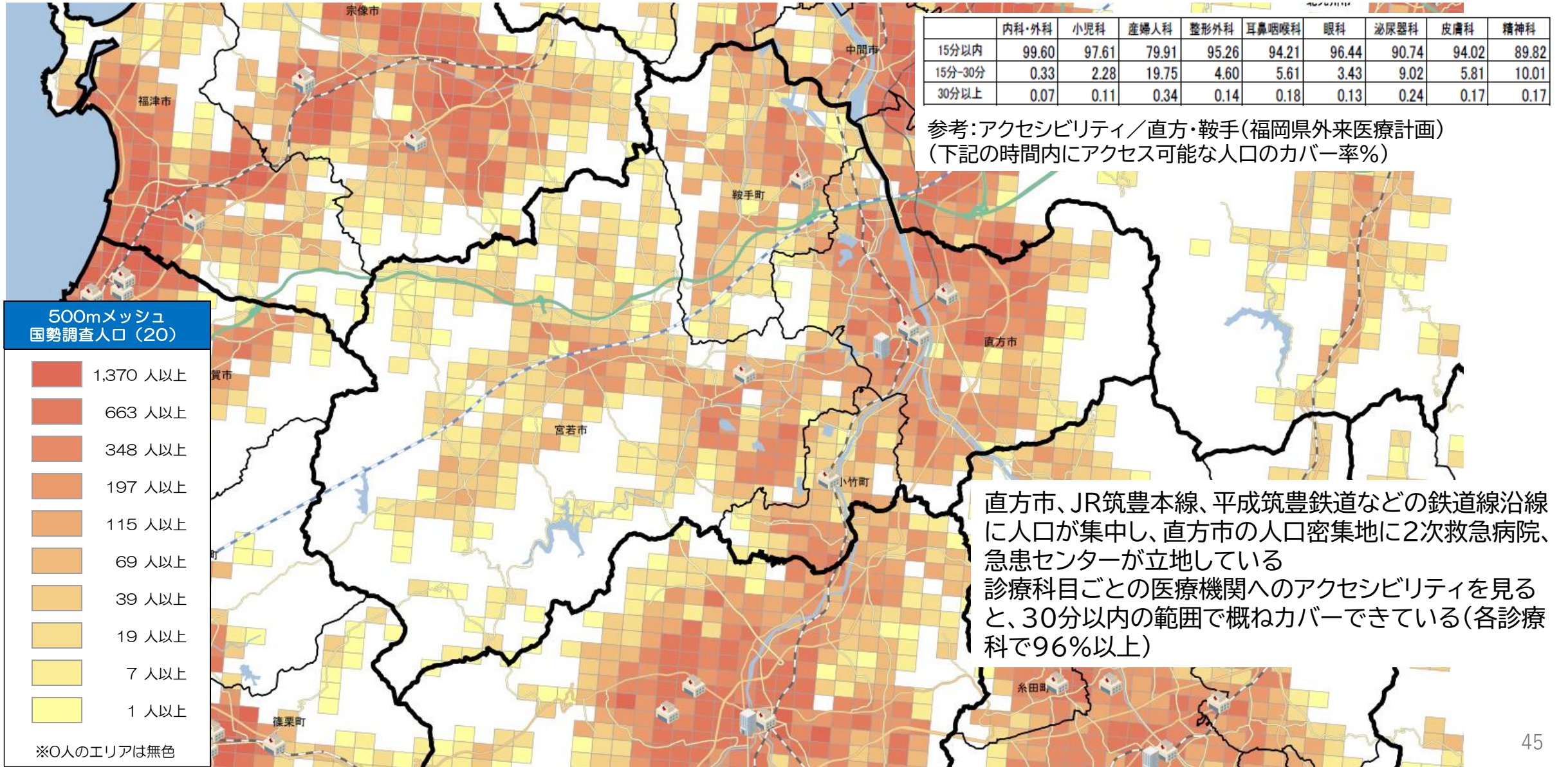


・直方・鞍手医療圏は、北九州医療圏、宗像医療圏、粕屋医療圏、飯塚医療圏、田川医療圏と接している

・医療の状況を見ると、直方・鞍手医療圏内には、6つの二次救急(医療法人一寿会西尾病院、福岡ゆたか中央病院、社会保険直方病院(直方市)、小竹町立病院(小竹町)、地方独立行政法人くらて病院(鞍手町)、医療法人相生会宮田病院(宮若市))と、1つの急患センター(直鞍急患センター)がある

・隣接する医療圏には数多くの二次救急と急患センターがある

# 18. 人口メッシュ(500m) (2020年(令和2年)「国勢調査」)



## 19. 救急搬送の状況① (令和5年「福岡県消防年報」)

	搬送人員 (人)	年齢区分					居住地		
		新生児(人、割合)	乳幼児(人、割合)	少年(人、割合)	成年(人、割合)	高齢者(人、割合)	管内(人、割合)	管外(人、割合)	その他(人、割合)
直方市消防本部	3,339	10 (0.3%)	113 (3.4%)	144 (4.3%)	844 (25.3%)	2,228 (66.7%)	2,770 (83.0%)	568 (17.0%)	1 (0.0%)
直方・鞍手広域市町村 圏事務組合消防本部	2,757	1 (0.0%)	89 (3.2%)	69 (2.5%)	666 (24.2%)	1,932 (70.1%)	2,336 (84.7%)	419 (15.2%)	2 (0.1%)
直方・鞍手区域計	6,096	11 (0.2%)	202 (3.3%)	213 (3.5%)	1,510 (24.8%)	4,160 (68.2%)	5,106 (83.8%)	987 (16.2%)	3 (0.0%)
福岡県	254,728	687 (0.3%)	10,824 (4.2%)	8,654 (3.4%)	75,536 (29.7%)	159,027 (62.4%)	235,856 (92.6%)	17,854 (7.0%)	1,018 (0.4%)

	初診医診断						軽傷に占める
	死亡(人、割合)	重篤(人、割合)	重症(人、割合)	中等症(人、割合)	軽症(人、割合)	その他(人、割合)	高齢者数(人、割合)
直方市消防本部	0 (0.0%)	0 (0.0%)	223 (6.7%)	2,129 (63.8%)	987 (29.6%)	0 (0.0%)	503 (51.0%)
直方・鞍手広域市町村 圏事務組合消防本部	48 (1.7%)	0 (0.0%)	148 (5.4%)	1,787 (64.8%)	774 (28.1%)	0 (0.0%)	412 (53.2%)
直方・鞍手区域計	48 (0.8%)	0 (0.0%)	371 (6.1%)	3,916 (64.2%)	1,761 (28.9%)	0 (0.0%)	915 (52.0%)
福岡県	1,573 (0.6%)	8 (0.0%)	13,146 (5.2%)	138,915 (54.5%)	100,911 (39.6%)	175 (0.1%)	48,147 (47.7%)

- ・搬送人員を年齢区分別に見ると、直方・鞍手区域、県ともに高齢者の割合が高い  
→ 直方・鞍手68.2%、県62.4%
- ・症状別では、直方・鞍手区域は、県に比べて「中等症」の割合が高い  
→ 直方・鞍手64.2%、県54.5%
- ・「軽症に占める高齢者の割合」は、直方・鞍手区域は県に比べて高く、5割を超えている  
→ 直方・鞍手52.0%、県47.7%

## 19. 救急搬送の状況② (令和5年「福岡県消防年報」)

	搬送人員 (人)	うち 高齢者 (人)	高齢者の発生場所							
			住宅 (人、割合)	公衆出入の場所(人、割合)			仕事場 (人、割合)	道路 (人、割合)	その他 (人、割合)	
				うち病院・病床数 20以上の医療機関 (人、割合)	うち病床数19以下 の診療所、医院 (人、割合)	うち老人ホーム、老 人保健施設等の老 人の収容施設 (人、割合)				
直方市消防本部	3,339	2,228	1,281 (57.5%)	811 (36.4%)	215 (9.6%)	92 (4.1%)	424 (19.0%)	17 (0.8%)	107 (4.8%)	12 (0.5%)
直方・鞍手広域市町村 圏事務組合消防本部	2,757	1,932	1,106 (57.2%)	674 (34.9%)	227 (11.7%)	43 (2.2%)	349 (18.1%)	30 (1.6%)	101 (5.2%)	21 (1.1%)
直方・鞍手区域計	6,096	4,160	2,387 (57.4%)	1,485 (35.7%)	442 (10.6%)	135 (3.2%)	773 (18.6%)	47 (1.1%)	208 (5.0%)	33 (0.8%)
福岡県	254,728	159,027	98,559 (62.0%)	48,121 (30.3%)	11,316 (7.1%)	4,613 (2.9%)	25,245 (15.9%)	1,237 (0.8%)	10,086 (6.3%)	1,024 (0.6%)

- ・高齢者の救急搬送件数を救急要請の発生場所別に見ると、県全体、直方・鞍手区域ともに、「住宅」が最も割合が高い  
→直方・鞍手57.4%、県62.0%
- ・次が「老人ホーム、老人保健施設等の老人の収容施設」である

# 19. 救急搬送の状況③ (令和5年「福岡県消防年報」)

	搬送人員 (人)	収容平均所要時間 (分)	搬送決定までの連絡回数					搬送先	
			1回(人、割合)	2回(人、割合)	3回(人、割合)	4回以上(人、割合)	うち高齢者(人、割合)	管内(人、割合)	管外(人、割合)
直方市消防本部	3,339	44.86	2,298 (68.8%)	476 (14.3%)	238 (7.1%)	327 (9.8%)	230 (70.3%)	1,145 (34.3%)	2,194 (65.7%)
直方・鞍手広域市町村圏事務組合消防本部	2,757	44.07	2,018 (73.2%)	374 (13.6%)	148 (5.4%)	217 (7.9%)	147 (67.7%)	1,074 (39.0%)	1,683 (61.0%)
直方・鞍手区域計	6,096	44.50	4,316 (70.8%)	850 (13.9%)	386 (6.3%)	544 (8.9%)	377 (69.3%)	2,219 (36.4%)	3,877 (63.6%)
福岡県	246,430	37.91	196,547 (79.8%)	31,515 (12.8%)	12,679 (5.1%)	13,987 (5.7%)	9,051 (64.7%)	201,365 (81.7%)	53,363 (21.7%)

## 【直方・鞍手区域各消防本部の主な搬送先】

(直方市消防本部)

搬送先機関名	所在市町村	搬送人員 (人)	総計に占める割合	うち軽症(%)			うち中等症(%)			うち重症(%)		
				うち軽症(%)	うち中等症(%)	うち重症(%)	うち軽症(%)	うち中等症(%)	うち重症(%)	うち軽症(%)	うち中等症(%)	うち重症(%)
1位 飯塚救命センター	飯塚市	516	15.5%	14.5%	73.4%	12.0%						
2位 直方病院	直方市	435	13.0%	33.8%	55.4%	10.8%						
3位 福岡ゆたか中央病院	直方市	435	13.0%	35.4%	62.5%	2.1%						
4位 くらて病院	鞍手町	341	10.2%	38.7%	54.5%	6.7%						
5位 宮田病院	宮若市	259	7.8%	48.3%	46.7%	5.0%						
1位～5位の合計		1,986	59.5%	31.9%	60.4%	7.8%						
総計		3,339	100.0%	29.6%	63.8%	6.7%						

(直方・鞍手広域市町村圏事務組合消防本部)

搬送先機関名	所在市町村	搬送人員 (人)	総計に占める割合	うち軽症(%)			うち中等症(%)			うち重症(%)		
				うち軽症(%)	うち中等症(%)	うち重症(%)	うち軽症(%)	うち中等症(%)	うち重症(%)	うち軽症(%)	うち中等症(%)	うち重症(%)
1位 宮田病院	宮若市	469	17.0%	40.5%	52.7%	4.1%						
2位 くらて病院	鞍手町	460	16.7%	31.3%	62.4%	3.5%						
3位 飯塚救命センター	飯塚市	430	15.6%	13.0%	76.7%	8.1%						
4位 福岡新水巻病院	水巻町	196	7.1%	11.7%	82.1%	5.6%						
5位 福岡ゆたか中央病院	直方市	167	6.1%	40.1%	58.1%	1.8%						
1位～5位の合計		1,722	62.5%	27.9%	65.2%	4.9%						
総計		2,757	100.0%	28.1%	64.8%	5.4%						

・収容平均所要時間は、県全体が37.9分、直方市消防本部が44.9分、直方・鞍手広域市町村圏事務組合消防本部が44.1分で、県に比べて7分ほど長くなっている

※収容平均所要時間とは、救急事故の覚知から医療機関に収容するまでに要した時間

・搬送決定までの連絡回数は、1回が県79.8%直方・鞍手区域が70.8%で、4回以上かかる人数は、県が5.7%、直方・鞍手区域が8.9%となっている

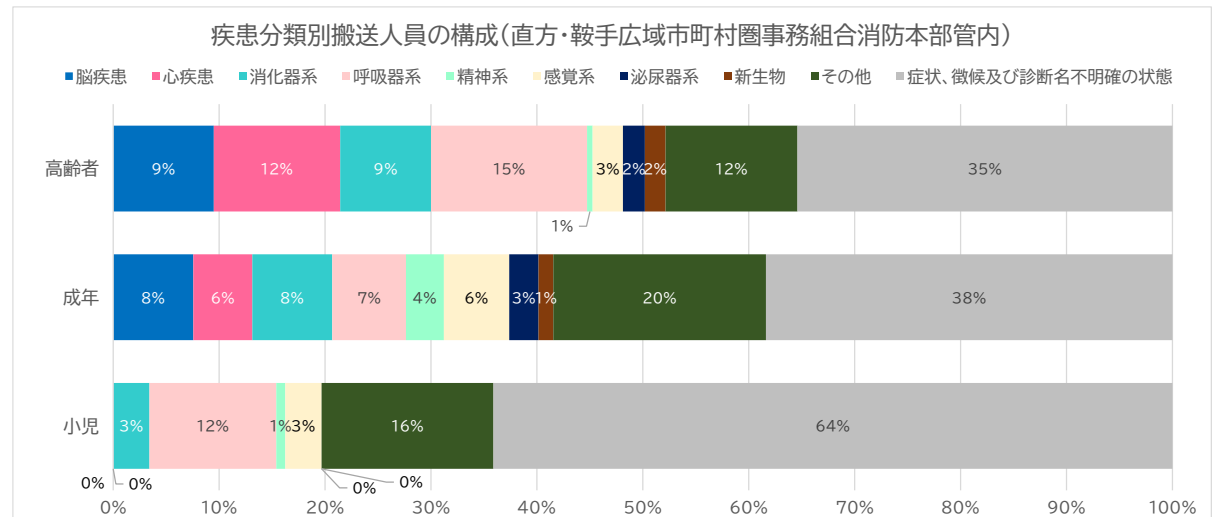
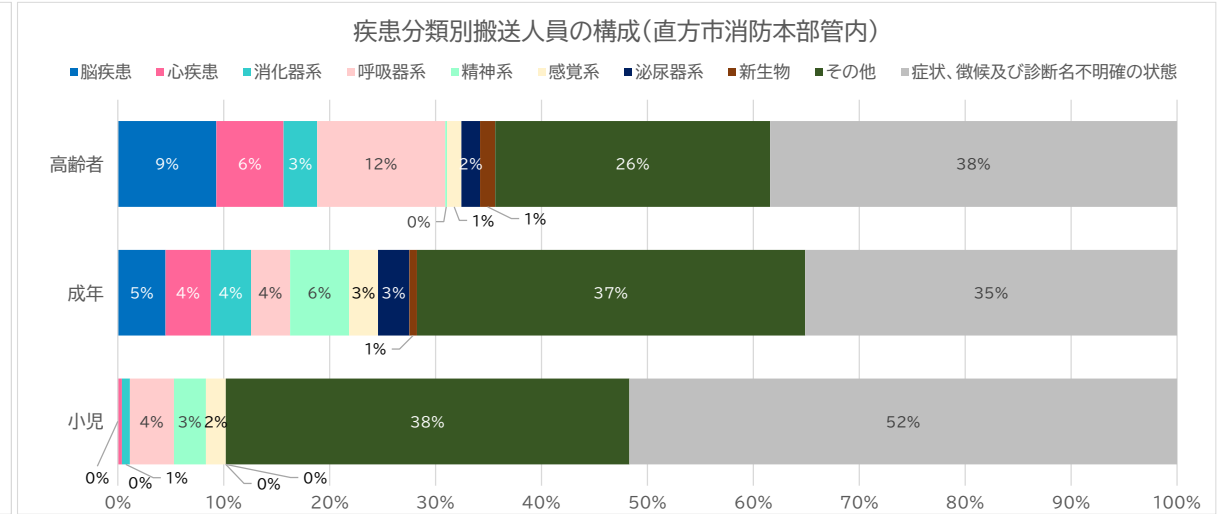
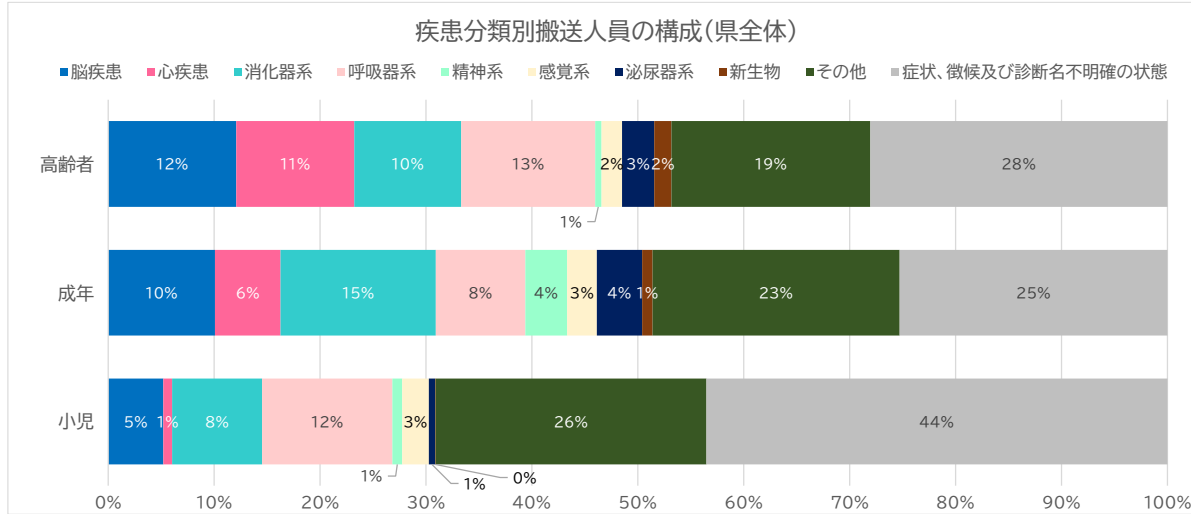
ただし、4回以上かかる人数のうち高齢者の割合は、県よりも直方・鞍手地区が5ポイントほど高い

・直方市消防本部の搬送先はやや分散しており、3次医療機関の「飯塚救命センター(飯塚病院救命救急センター)」、域内の「直方病院」、「福岡ゆたか中央病院」、「くらて病院」が10%台で並んでいる

直方・鞍手広域市町村圏事務組合消防本部も搬送先はやや分散しており、域内の「宮田病院」、「くらて病院」、3次医療機関の「飯塚救命センター(飯塚病院救命救急センター)」が10%台で並んでいる

# 19. 救急搬送の状況④ (令和5年「福岡県消防年報」)

## ● 疾患分類別搬送人員の構成



# 19. 救急搬送の状況⑤ (令和5年「福岡県消防年報」)

● 小児(新生児、乳幼児、少年の計)に係る直方・鞍手区域内の各消防本部の搬送状況 \*搬送人員が10人以上の医療機関のうち、上位3位を集計

直方市消防本部

救急患者:267人(うち 搬送先 管内29人(10.9%)、管外238人(89.1%))

【管内】

病院名		搬送人員	総計に占める割合
1位	西尾病院	11人	37.9%
2位	福岡ゆたか中央病院	11人	37.9%
-	-	-	-
管内総計		29人	100.0%

【管外】

病院名		所在市町村	搬送人員	総計に占める割合
1位	北九州市立八幡病院	北九州市	78人	32.8%
2位	飯塚病院	飯塚市	67人	28.2%
3位	JCHO九州病院	北九州市	59人	24.8%
管外総計			238人	100.0%

【参考】直方市消防本部

搬送決定までの連絡回数	搬送人員 (割合)
1回	210人 (78.7%)
2回	32人 (12.0%)
3回	16人 (6.0%)
4回以上	9人 (3.4%)

収容平均所要時間 46.01分

直方・鞍手広域市町村圏事務組合消防本部

救急患者:159人(うち 搬送先 管内18人(11.3%)、管外141人(88.7%))

【管内】

病院名		搬送人員	総計に占める割合
1位	宮田病院	10人	55.6%
-	-	-	-
-	-	-	-
管内総計		18人	100.0%

【管外】

病院名		所在市町村	搬送人員	総計に占める割合
1位	飯塚病院	飯塚市	68人	48.2%
2位	JCHO九州病院	北九州市	22人	15.6%
3位	北九州市立八幡病院	北九州市	20人	14.2%
管外総計			141人	100.0%

【参考】直方・鞍手広域市町村圏事務組合

搬送決定までの連絡回数	搬送人員 (割合)
1回	112人 (70.4%)
2回	24人 (15.1%)
3回	9人 (5.7%)
4回以上	14人 (8.8%)

収容平均所要時間 46.42分

● 小児に係る直方・鞍手区域内の医療機関への搬送患者の状況

病院名		搬送患者数	1位				2位		3位	
			1位	2位	3位	4位	1位	2位	3位	4位
1位	宮田病院	18人	直方・鞍手広域市町村圏事務組合消防本部	55.6%	直方市消防本部	38.9%	飯塚地区消防本部	5.6%		
	福岡ゆたか中央病院	18人	直方市消防本部	61.1%	直方・鞍手広域市町村圏事務組合消防本部	27.8%	飯塚地区消防本部	5.6%	田川地区消防本部	
3位	くらて病院	16人	直方市消防本部	56.3%	直方・鞍手広域市町村圏事務組合消防本部	43.8%	-	-		

【参考】福岡県平均

搬送決定までの連絡回数	搬送人員 (割合)
1回	16,559人 (82.1%)
2回	2,254人 (11.2%)
3回	765人 (3.8%)
4回以上	587人 (2.9%)

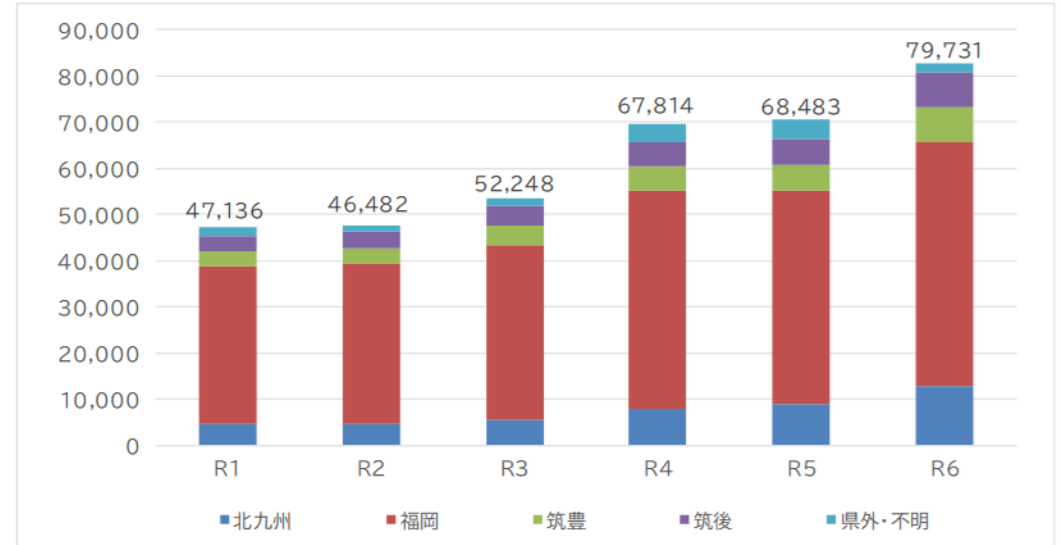
収容平均所要時間 37.55分

## 20. 救急医療電話相談利用件数

### ●福岡県救急電話相談事業( #7119)市別利用件数

地域別	R1	R2	R3	R4	R5	R6	増加率 (R1→R6)
北九州	4,716	4,473	5,728	7,984	8,731	12,650	168.2%
福岡	33,951	35,026	37,704	47,051	46,369	53,038	56.2%
筑豊	3,341	2,292	2,739	3,688	3,588	4,413	32.1%
筑後	3,354	3,315	4,134	5,334	5,670	7,526	124.4%
県外・不明	1,774	1,376	1,943	3,757	4,125	2,104	18.6%
福岡県計	47,136	46,482	52,248	67,814	68,483	79,731	69.2%

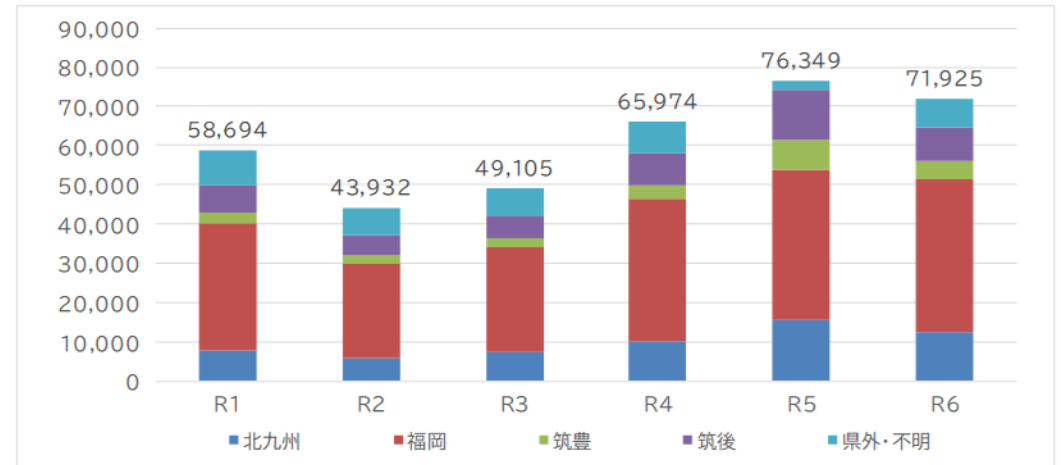
福岡県のR6年度の「#7119」の利用件数は、前年度(R5年度)から1万1,248件増加し、過去最多の7万9,731件となった  
 筑豊地域のR6年度の「#7119」の利用件数は、前年度(R5年度)から825件増加し、過去最多の4413件となった



### ●福岡県小児救急医療電話相談( #8000)件数

地域別	R1	R2	R3	R4	R5	R6	増加率 (R1→R6)
北九州	7,615	5,869	7,334	10,265	15,449	12,596	65.4%
福岡	32,539	24,063	26,695	36,142	38,283	38,759	19.1%
筑豊	2,843	2,230	2,472	3,546	7,872	4,544	59.8%
筑後	6,919	4,795	5,651	8,177	12,649	8,656	25.1%
県外・不明	8,778	6,975	6,953	7,844	2,096	7,370	-16.0%
福岡県計	58,694	43,932	49,105	65,974	76,349	71,925	22.5%

福岡県の「#8000」の相談件数はR2年度から増加傾向にあり、過去最多は前年度(R5年度)の7万6,349件である  
 筑豊地域の「#8000」の相談件数はR2年度から増加傾向にあり、過去最多は前年度(R5年度)の7,872件で、R6年度は4,544件となった



\* 地域別の件数は相談者居住地による相談件数

## 21. MDC(主要診断群分類)別割合(手術あり) (令和5年度DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」(R5.4月～R6.3月))

Major Diagnostic Category : WHOが制定しているICD-10分類「疾病及び関連保健問題の国際統計分類第10回修正」に基づく18の主要診断群のこと

神経系 (01)	: ー
眼科系 (02)	: (医) 一寿会西尾病院 (83.4%)、(独) 地域医療機能推進機構 福岡ゆたか中央病院 (16.6%)
耳鼻科系 (03)	: ー
呼吸器系 (04)	: (独) 地域医療機能推進機構 福岡ゆたか中央病院 (100.0%)
循環器系 (05)	: 社会保険直方病院 (100.0%)
消化器系 (06)	: (独) 地域医療機能推進機構 福岡ゆたか中央病院 (45.4%)、社会保険直方病院 (20.5%)、(地独) くらて病院 (16.7%)
筋骨格系 (07)	: (医) 一寿会西尾病院 (92.8%)、社会保険直方病院 (7.2%)
皮膚系 (08)	: ー
乳房系 (09)	: (独) 地域医療機能推進機構 福岡ゆたか中央病院 (63.0%)、(地独) くらて病院 (37.0%)
内分泌系 (10)	: ー
腎尿路系 (11)	: 社会保険直方病院 (38.1%)、(地独) くらて病院 (35.7%)、(医) 相生会宮田病院 (26.2%)
女性系 (12)	: ー
血液系 (13)	: ー
新生児系 (14)	: ー
小児系 (15)	: ー
外傷系 (16)	: (医) 一寿会西尾病院 (58.1%)、社会保険直方病院 (18.0%)、(地独) くらて病院 (11.3%)
精神系 (17)	: ー
その他 (18)	: (地独) くらて病院 (53.8%)、(医) 相生会宮田病院 (46.2%)

## 21. MDC(主要診断群分類)別割合(手術なし) (令和5年度DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」(R5.4月～R6.3月))

Major Diagnostic Category : WHOが制定しているICD-10分類「疾病及び関連保健問題の国際統計分類第10回修正」に基づく18の主要診断群のこと

神経系 (01)	: (医) 相生会宮田病院 (44.0%)、(地独) くらて病院 (34.0%)、(独) 地域医療機能推進機構 福岡ゆたか中央病院 (22.0%)
眼科系 (02)	: —
耳鼻科系 (03)	: (独) 地域医療機能推進機構 福岡ゆたか中央病院 (37.6%)、(地独) くらて病院 (22.4%)、小竹町立病院 (19.2%)
呼吸器系 (04)	: (独) 地域医療機能推進機構 福岡ゆたか中央病院 (35.6%)、(地独) くらて病院 (33.1%)、小竹町立病院 (11.4%)
循環器系 (05)	: 社会保険直方病院 (43.8%)、(地独) くらて病院 (24.0%)、(独) 地域医療機能推進機構 福岡ゆたか中央病院 (14.3%)
消化器系 (06)	: (独) 地域医療機能推進機構 福岡ゆたか中央病院 (31.7%)、(地独) くらて病院 (23.5%)、(医) 相生会宮田病院 (21.3%)
筋骨格系 (07)	: (独) 地域医療機能推進機構 福岡ゆたか中央病院 (31.8%)、(医) 一寿会西尾病院 (28.0%)、社会保険直方病院 (17.4%)
皮膚系 (08)	: 社会保険直方病院 (33.9%)、(地独) くらて病院 (25.8%)、(独) 地域医療機能推進機構 福岡ゆたか中央病院 (22.6%)
乳房系 (09)	: (独) 地域医療機能推進機構 福岡ゆたか中央病院 (100.0%)
内分泌系 (10)	: 小竹町立病院 (26.2%)、(独) 地域医療機能推進機構 福岡ゆたか中央病院 (24.4%)、社会保険直方病院 (23.8%)
腎尿路系 (11)	: (地独) くらて病院 (44.9%)、社会保険直方病院 (20.8%)、(医) 相生会宮田病院 (12.8%)
女性系 (12)	: —
血液系 (13)	: (独) 地域医療機能推進機構 福岡ゆたか中央病院 (35.5%)、(地独) くらて病院 (23.7%)、(医) 相生会宮田病院 (21.1%)
新生児系 (14)	: —
小児系 (15)	: —
外傷系 (16)	: (医) 一寿会西尾病院 (22.4%)、社会保険直方病院 (20.5%)、(独) 地域医療機能推進機構 福岡ゆたか中央病院 (17.2%)
精神系 (17)	: —
その他 (18)	: —